

保存版

目の届く場所に
保管してください

上三川町
Kaminokawa Town

防災

ハザードマップ

Disaster Prevention Hazard Map

～大切な命を守るために～



さまざまな災害に備えましょう

Web Hazard Map



网络灾害预测地图



Peta bahaya berbasis Web



Bản đồ nguy cơ thảm họa bản web



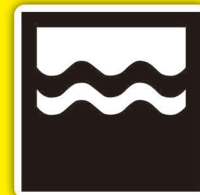
ផែនទីនៃគំហុសរងគ្រោះថ្នាក់លើគេហទំព័រ



WEB 版 ハザードマップ

洪水・浸水の災害リスクや防災に
役立つ情報を閲覧できる Web
地図サイトです。

スマートフォン・タブレットでご
覧いただけます



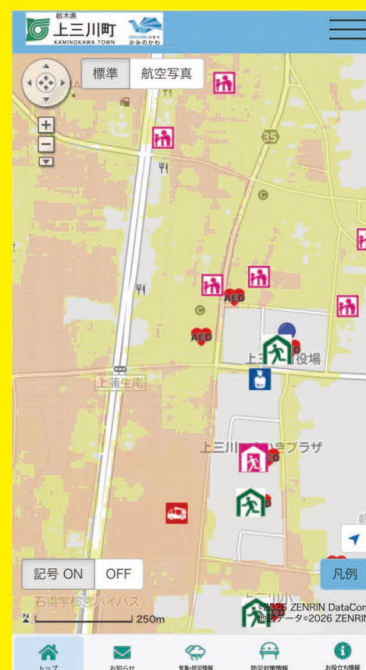
洪水/内水氾濫



地震



大規模な火事



災害の備え

全体索引図

ハザードマップ(外水氾濫)

ハザードマップ(内水氾濫)

風水害等

地震

避難・備え等

もくじ

もくじ	1	火災	30
台風・豪雨時の避難の参考となる5段階の警戒レベル	2	地震災害	31～32
台風・豪雨時避難行動判定フロー	3	震度分布図	33
マイ・タイムライン	4	液状化危険度分布図	34
ハザード情報について	5	地域ぐるみで防災に取り組もう	35
全体索引図(外水氾濫・内水氾濫)	6	避難の種類	36
詳細図1～6(外水氾濫)	7～18	避難するときの心得	37
詳細図1～3(内水氾濫)	19～22	災害の「備え」チェックリスト	38
洪水浸水想定区域図【浸水継続時間】	23	避難所について	39
雷・竜巻や急な大雨など	24	自宅に留まる場合の備え	40
台風などの風水害	25～26	避難所一覧・関連施設	41
風水害	27～28	わが家の「緊急・救急情報」防災メモ	42
雪害/火災	29	かみのかわ情報アプリで情報を集めましょう	裏表紙

本書の活用方法について

- 住んでいる場所と予想される危険箇所を地図上で確認しましょう
- 避難先を確認しましょう
- 避難経路を考えてみましょう
- 家族や周辺住民と情報を共有しましょう



家族みんなで防災会議

災害は家族が一緒にいるときに起こるとは限りません。いざというときにあわてず行動できるよう、本書を活用いただき、家族で普段から話し合っておきましょう。

- 家具の置き方、工夫していますか？
- 食料・飲料などの備蓄、十分ですか？
- 非常用持ち出しバッグの準備、できていますか？
- 安否確認方法、決まっていますか？
- 避難先や避難経路、確認していますか？
- 関連お役立ちサイト、把握していますか？
- もしものときの情報収集、していますか？



地域の防災力を高める 自助・共助・公助

地震や洪水、台風などの自然災害による被害は、わたしたちの日ごろの努力によって減らすことが可能です。行政による「公助」はいうまでもありませんが、自分の身は自分で守る「自助」、地域や身近にいる人どうしが助け合う「共助」こそが、災害による被害を少なくするための大きな力となります。ただし、身のまわりの人を助けるには、まず自分自身が無事であればなりません。「自助」があつての「共助」です。災害が起こってからでは間に合いません。いざというときに備え、適切な行動ができるよう日常的に防災を意識しましょう。

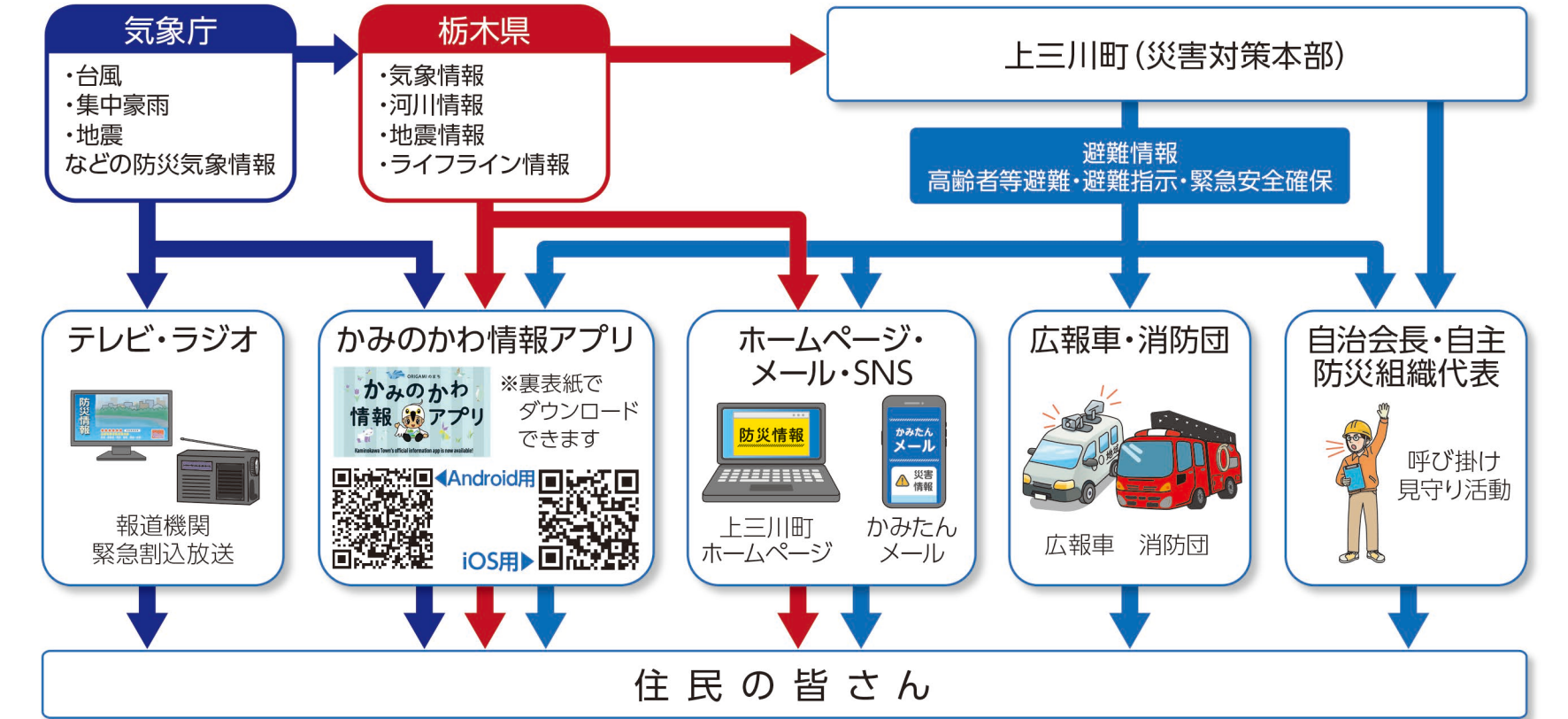


台風・豪雨時の避難の参考となる5段階の警戒レベル

避難情報など (警戒レベル)			防災気象情報 (警戒レベル相当情報)		
警戒レベル 状況	住民がとるべき行動	避難情報	警戒 レベル	河川氾濫	大雨
5 災害発生 または切迫	命の危険 直ちに 安全確保！	緊急安全 確保	5 相当	レベル5 氾濫 特別警報	レベル5 大雨 特別警報
〜〜警戒レベル4までに必ず避難！〜〜					
4 災害の おそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示	4 相当	レベル4 氾濫 危険警報	レベル4 大雨 危険警報
3 災害の おそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等 避難	3 相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報
2 気象状況 悪化	自らの避難 行動を確認	—	2	レベル2 氾濫 注意報	レベル2 大雨 注意報
1 今後気象状況 悪化のおそれ	災害への 心構えを 高める	—	1	早期注意情報	

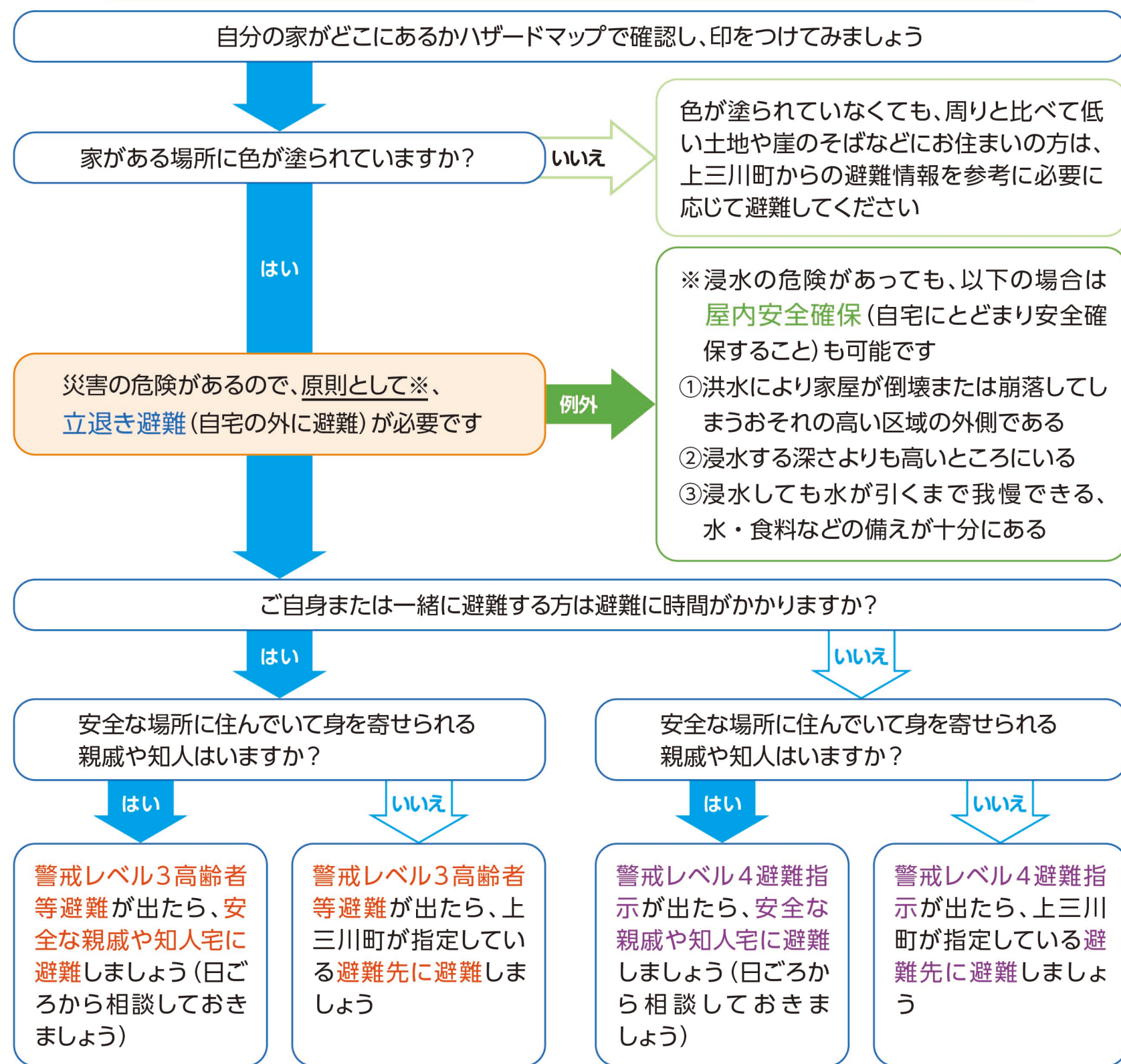
警戒レベル相当情報とは、国・県等が発表する防災気象情報のうち、住民の皆さんが自ら行動をとる際の判断に参考となる情報のことです。上三川町は避難指示等の避難情報の適時的確な発令に努めます。併せて、住民の皆さんも、避難情報の発令を待たず、警戒レベル相当情報を参考に自ら判断して早めに避難行動をとりましょう。

住民への伝達方法



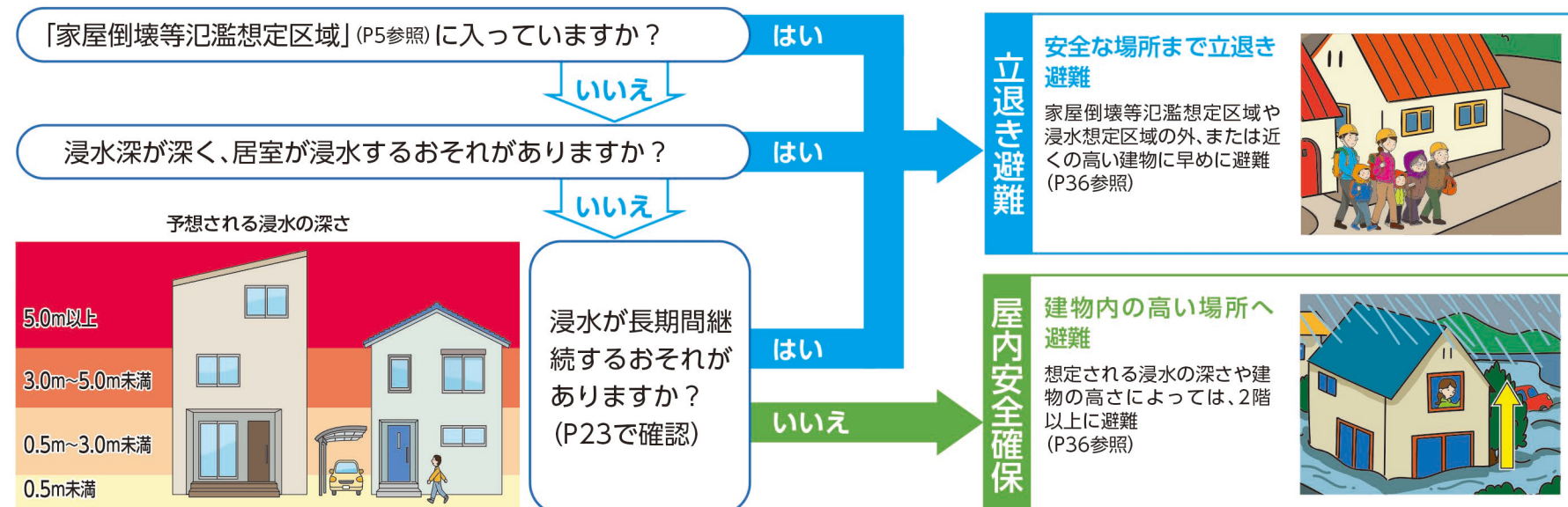
台風・豪雨時避難行動判定フロー

台風・豪雨時に備えて、自宅の災害リスクととるべき行動を確認しましょう。



避難行動について

指定された避難先へ行くことだけが避難ではありません。災害時にとるべき避難行動を、想定される災害種別や住宅構造に応じて「立退き避難」か「屋内安全確保」かを確認しておきましょう。



マイ・タイムライン

風水害時は、数日前から防災気象情報などで災害の危険性が伝えられます。情報を得て早めに避難などの備えをしておくことで、あなたや家族が安全に避難することができます。風水害時のあなたや家族の行動を書きましょう。家族で決めた避難先・集合場所、連絡方法はP42。風水害時に発表される防災気象情報は、P24-28をご参照ください。

災害発生までの時間	気象情報・避難指示など	〈例〉主な備えと行動	わが家の行動計画 (左の例を参考に書いてみましょう)
5日前〜	台風に関する気象情報 台風が発生  台風が近づいて、雨や風がだんだん強くなる	○台風の今後を調べ始める ○家の周りに風で飛ばされるようなものはないか確認 ○テレビ、インターネット、携帯メールなどで雨や川の様子に注意 ○避難するときに持っていくものを準備する ○家族と連絡を取り合う	
〜半日前	レベル2大雨注意報 氾濫注意水位到達 雨が集まって、川の水がだんだん増える  激しい雨で、川の水がどんどん増えて、河川敷にも水が流れる	○住んでいるところと上流の雨量を調べ始める ○川の水位を調べ始める ○避難しやすい服装に着替える ○携帯電話、スマートフォンを充電する	
半日〜数時間前	レベル3大雨警報 避難判断水位到達 高齢者等避難 川の水があふれそうになる 	○携帯メールなどで高齢者等避難を受信 高齢者など避難に時間がかかる人は避難!!	
数時間前	レベル4大雨危険警報 氾濫危険水位到達 あるいは到達見込み 避難指示 川の水が氾濫	○携帯メールなどで避難指示を受信 全員避難完了!!	
災害発生 0時間	レベル5大雨特別警報 レベル5 氾濫特別警報 氾濫が発生または切迫 緊急安全確保 川の水が氾濫	○命の危険 直ちに安全確保 命を守る行動を!! 災害が発生、または切迫しています。命の危険が迫っています。指定緊急避難場所等への立退き避難が、かえって危険な状況になっています。危険な場所にいる方は、直ちに、近くのより安全な場所(丈夫な建物や、高い場所など)へ移動し、身を守ってください。	

※ 気象庁が発表する大雨注意報などの発表時間は、イメージで記載しています。避難指示などのタイミングは状況によって異なります。上三川町からの発信情報に注意してください。

ハザード情報について

洪水浸水想定区域について（想定最大規模・外水氾濫）

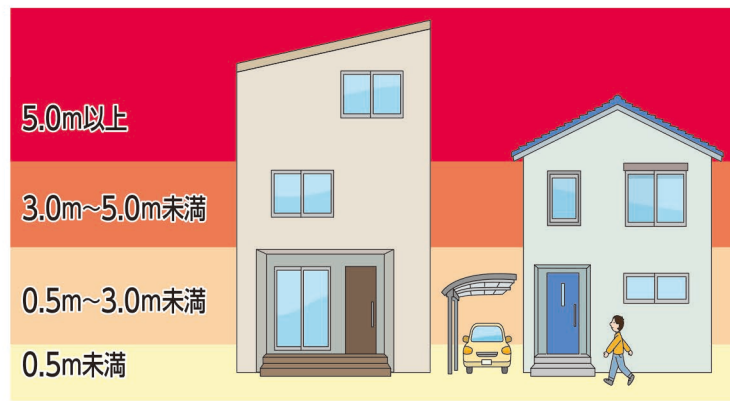
- 洪水浸水想定区域図は、河川の水位周知区間について、水防法の規定により定められた想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示しています。
- この洪水浸水想定区域図は、現時点の河川の河道の整備状況を勘案して、想定最大規模降雨田川流域（6時間総雨量/365mm）、鬼怒川流域・石井上流域（72時間総雨量/669mm）等に伴う洪水により河川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮および内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

雨水出水浸水想定区域について（想定最大規模・内水氾濫）

- 雨水出水浸水想定区域は、水防法に基づく想定最大規模降雨、地域の既往最大降雨や他地域での大規模な降雨など一定の被害が想定される降雨等が生じた際に、雨水排水施設の能力不足や河川等の水位上昇に伴い当該雨水を排水できない場合に、浸水の発生が想定される区域や実際に浸水が想定される水深を表示しています。また、雨水出水浸水想定区域の対象区域は市街化区域のうち雨水排水施設が整備されている区域となっております。
- この雨水出水浸水想定区域は、令和6年度末時点において、上三川町において想定しうる最大規模の降雨（1時間153mm）により内水氾濫が発生した場合に想定される浸水状況をシミュレーションにより予測したものです。
- このシミュレーションの実施にあたっては、「シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨」や「河川の氾濫」は考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される浸水深が実際と異なる場合があります。

ハザードマップの見方

水害（外水氾濫）



※上三川町では、生命・身体に直接影響をおよぼす可能性がある家屋倒壊等氾濫想定区域や想定される浸水深が深い区域などを「早期立退き避難が必要な区域」として設定しています。

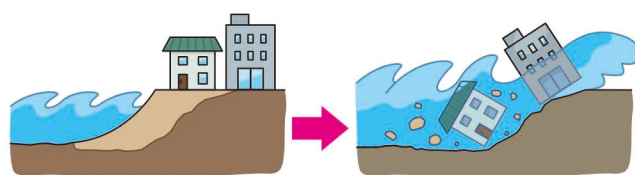
家屋倒壊



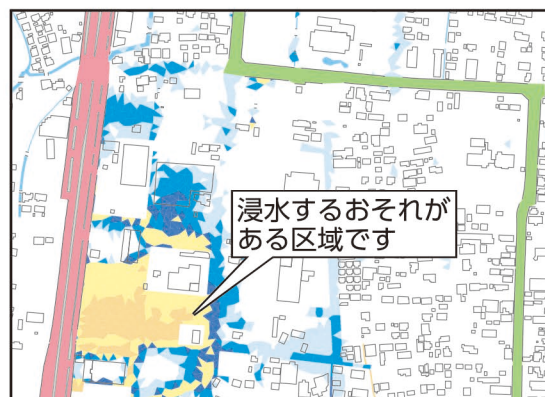
家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流・河岸浸食）
洪水時に家屋の流失・倒壊をもたらすような氾濫が発生するおそれがある範囲

流速が速いため、木造家屋は倒壊するおそれがあります

地面が削られ家屋は建物ごと崩落するおそれがあります

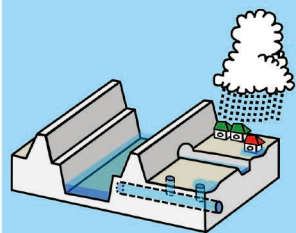


水害（内水氾濫）



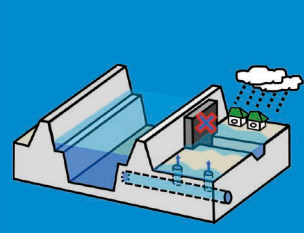
内水氾濫浸水想定区域 (浸水した場合に想定される水深)	
	2.0m 以上の区域
	1.0 ～ 2.0m 未満の区域
	0.6 ～ 1.0m 未満の区域
	0.45 ～ 0.6m 未満の区域
	0.3 ～ 0.45m 未満の区域
	0.2 ～ 0.3m 未満の区域

氾濫型の内水氾濫



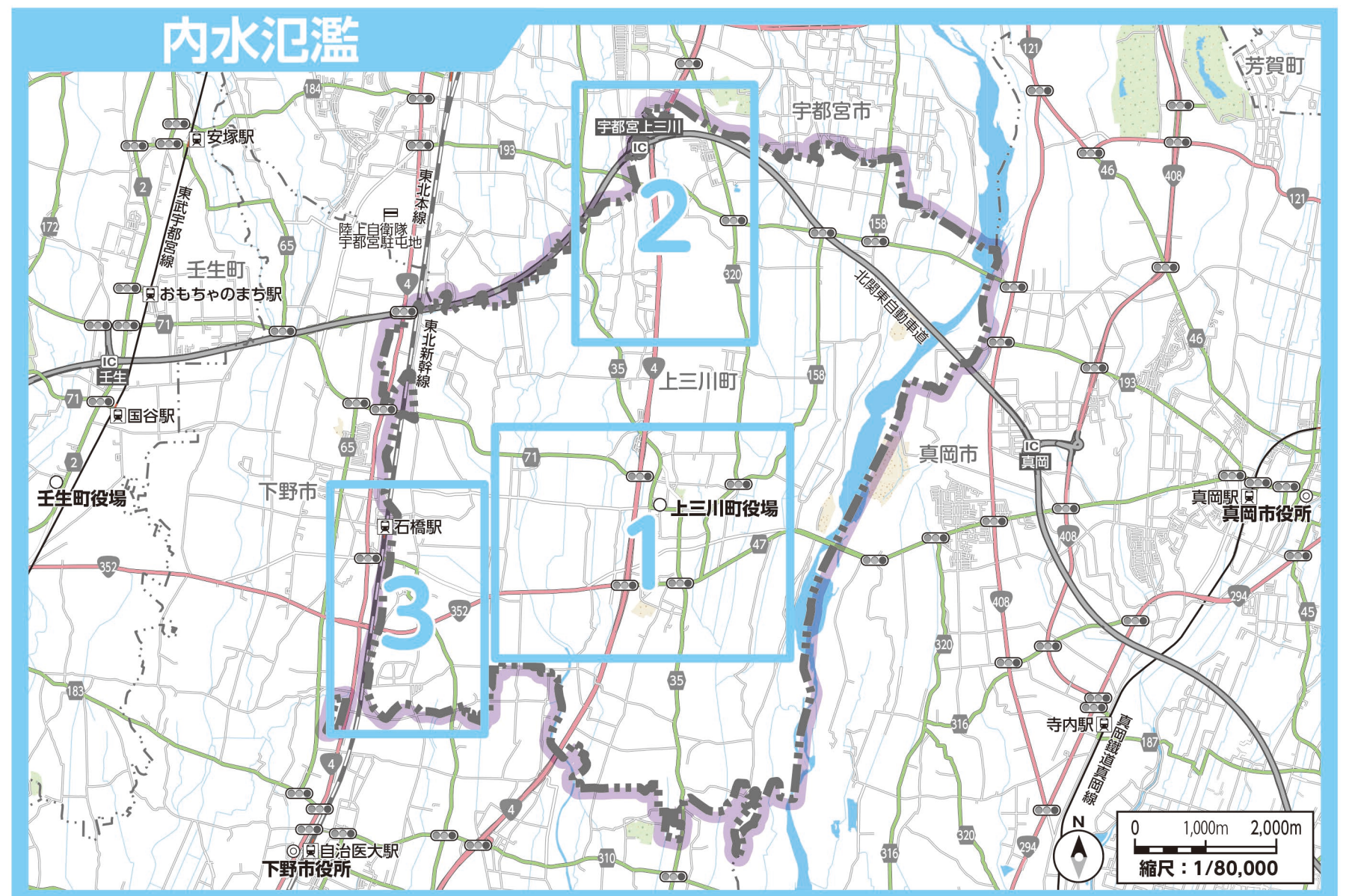
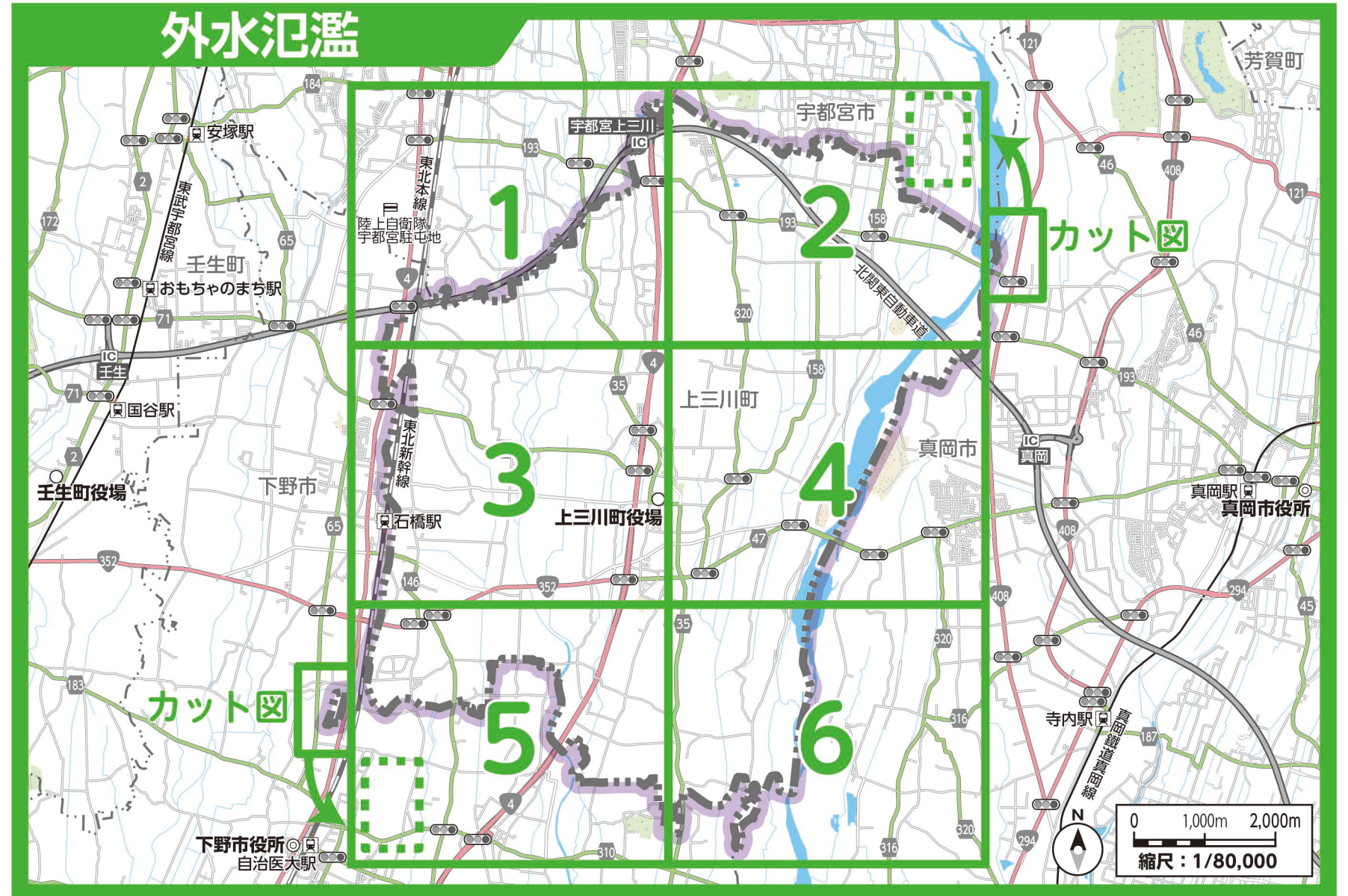
- ・短時間強雨等により雨水の排水能力が追いつかず、発生する浸水。
- ・河川周辺地域とは異なる場所でも発生する。

湛水型の内水氾濫



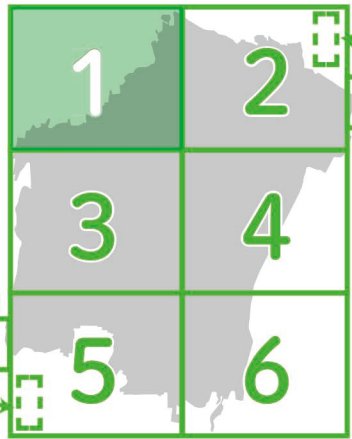
- ・河川周辺の雨水が河川の水位が高くなったため排水できずに発生。
- ・発生地域は堤防の高い河川の周辺に限定される。

全体索引図 (外水氾濫・内水氾濫)



外水氾濫による
洪水浸水想定
(想定最大規模)

1



カット図

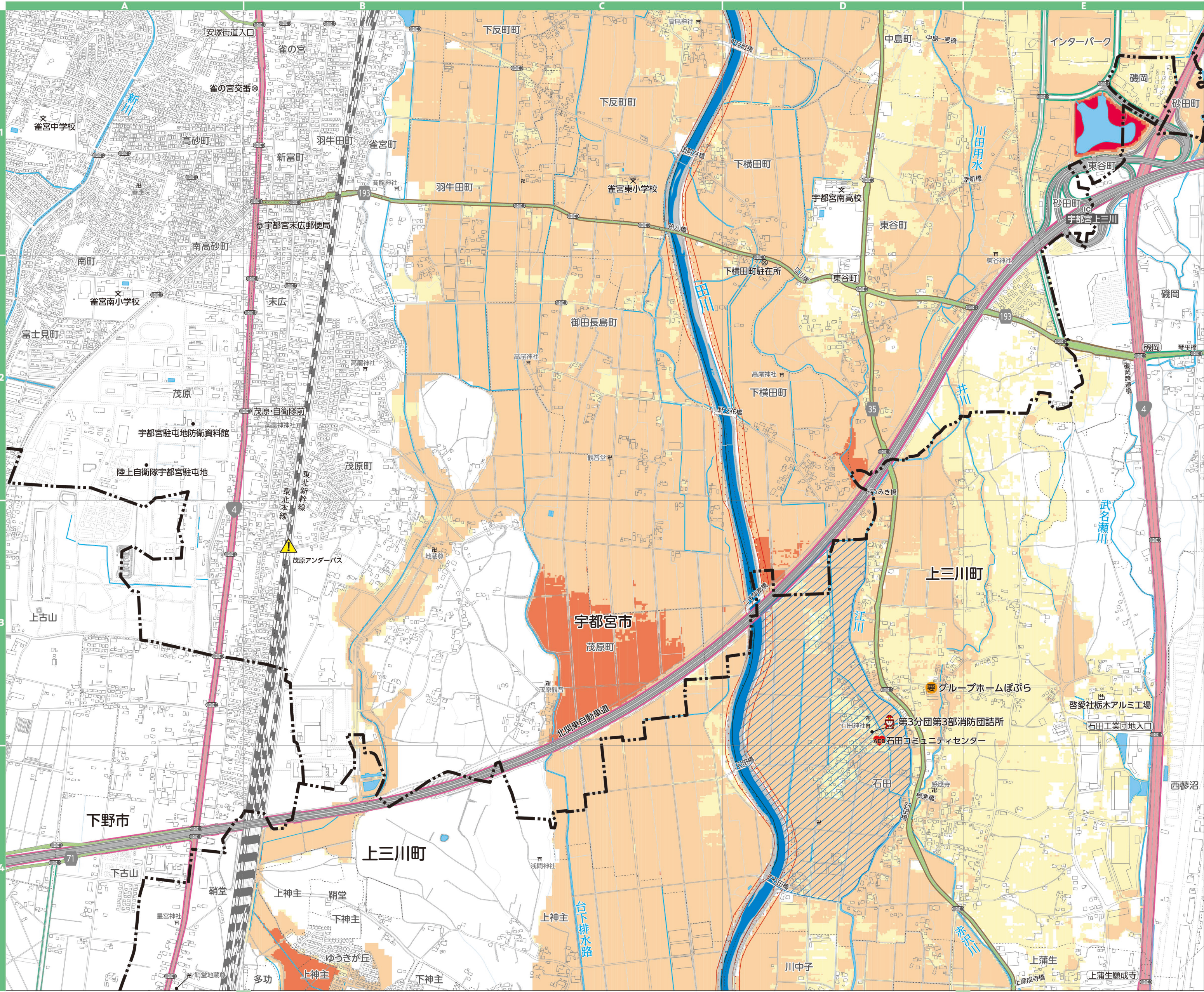
カット図

凡 例			
地図記号	表示項目	地図記号	表示項目
	指定緊急避難場所および指定避難所		町役場
	指定緊急避難場所および指定避難所(洪水以外)		消防署
	指定福祉避難所		消防団詰所
	要配慮者利用施設		警察署・交番・駐在所
	AED		医療機関
	災害時ヘリコプター離着陸場		郵便局
	水防倉庫		大規模工場
	防災倉庫		信号機・信号名
	水位観測所		駅
	河川カメラ		神社
	アンダーパス		寺院
	令和元年台風19号の浸水実績エリア		
	一次輸送道路		
	二次輸送道路		
	三次輸送道路		
	高速道路		
	国道		
	主要地方道・県道		

河川洪水浸水想定区域 (浸水した場合に想定される水深)	
早期立退き避難が必要な区域	
	河岸浸食および氾濫流により家屋倒壊のおそれがある区域
	5.0～10.0m 未満の区域
	3.0～5.0m 未満の区域
	0.5～3.0m 未満の区域
	0.0～0.5m 未満の区域
	対象河川
	河川範囲



0 500m
縮尺：1/11,000



ハザードマップ(外水氾濫)

2

2



カット図

ハザードマップ（外水氾濫）

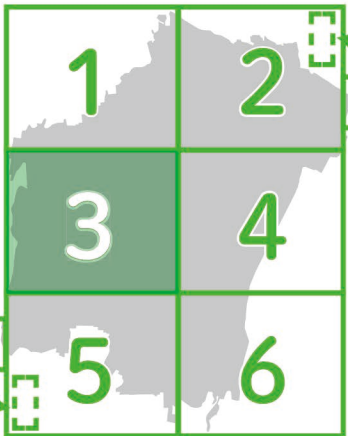


ハザードマップ（外水氾濫）

カット図へ

外水氾濫による
洪水浸水想定
(想定最大規模)

3



カット図

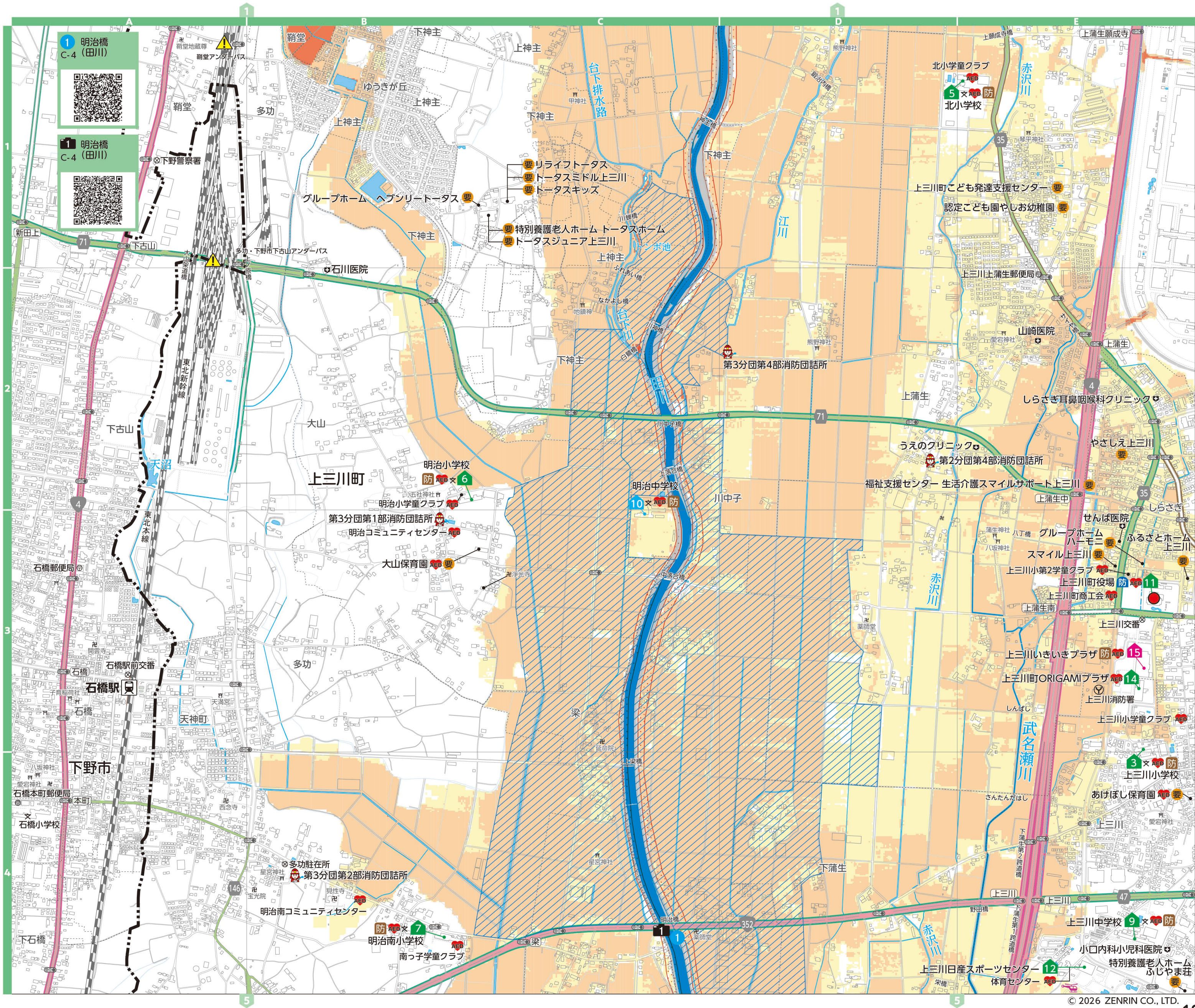
カット図

凡 例			
地図記号	表示項目	地図記号	表示項目
	指定緊急避難場所および指定避難所		町役場
	指定緊急避難場所および指定避難所(洪水以外)		消防署
	指定福祉避難所		消防団詰所
	要配慮者利用施設		警察署・交番・駐在所
	AED		医療機関
	災害時ヘリコプター離着陸場		郵便局
	水防倉庫		大規模工場
	防災倉庫		信号機・信号名
	水位観測所		駅
	河川カメラ		神社
	アンダーパス		寺院
	令和元年台風19号の浸水実績エリア		
	一次輸送道路		
	二次輸送道路		
	三次輸送道路		
	高速道路		
	国道		
	主要地方道・県道		

河川洪水浸水想定区域 (浸水した場合に想定される水深)	
早期立退き避難が必要な区域	
	河岸浸食および氾濫流により家屋倒壊のおそれがある区域
	5.0～10.0m 未満の区域
	3.0～5.0m 未満の区域
	0.5～3.0m 未満の区域
	0.0～0.5m 未満の区域
	対象河川
	河川範囲



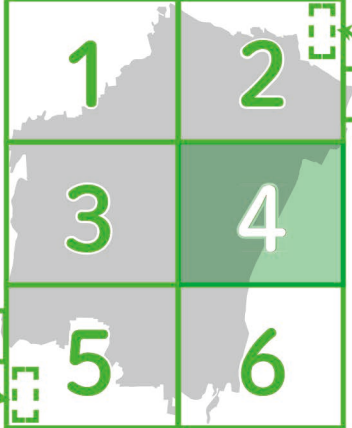
0 500m
縮尺：1/11,000



ハザードマップ(外水氾濫)

外水氾濫による
洪水浸水想定
(想定最大規模)

4



凡 例

地図記号	表示項目	地図記号	表示項目
00	指定緊急避難場所 および指定避難所	●	町役場
00	指定緊急避難場所および 指定避難所(洪水以外)	⦿	消防署
00	指定福祉避難所	👮	消防団詰所
要	要配慮者 利用施設	⊗	警察署・交番・ 駐在所
AED	AED	🏥	医療機関
🚁	災害時ヘリコプター 離着陸場	📮	郵便局
防	水防倉庫	🏭	大規模工場
防	防災倉庫	📶	信号機・信号名
1	水位観測所	🚉	駅
📷	河川カメラ	⛩	神社
⚠️	アンダーパス	⛩	寺院

令和元年台風19号の
浸水実績エリア

一次輸送道路

二次輸送道路

三次輸送道路

高速道路

145 国道

375 主要地方道・県道

河川洪水浸水想定区域
(浸水した場合に想定される水深)

早期立退き避難が必要な区域

河岸浸食および氾濫流により
家屋倒壊のおそれがある区域

5.0～10.0m 未満の区域

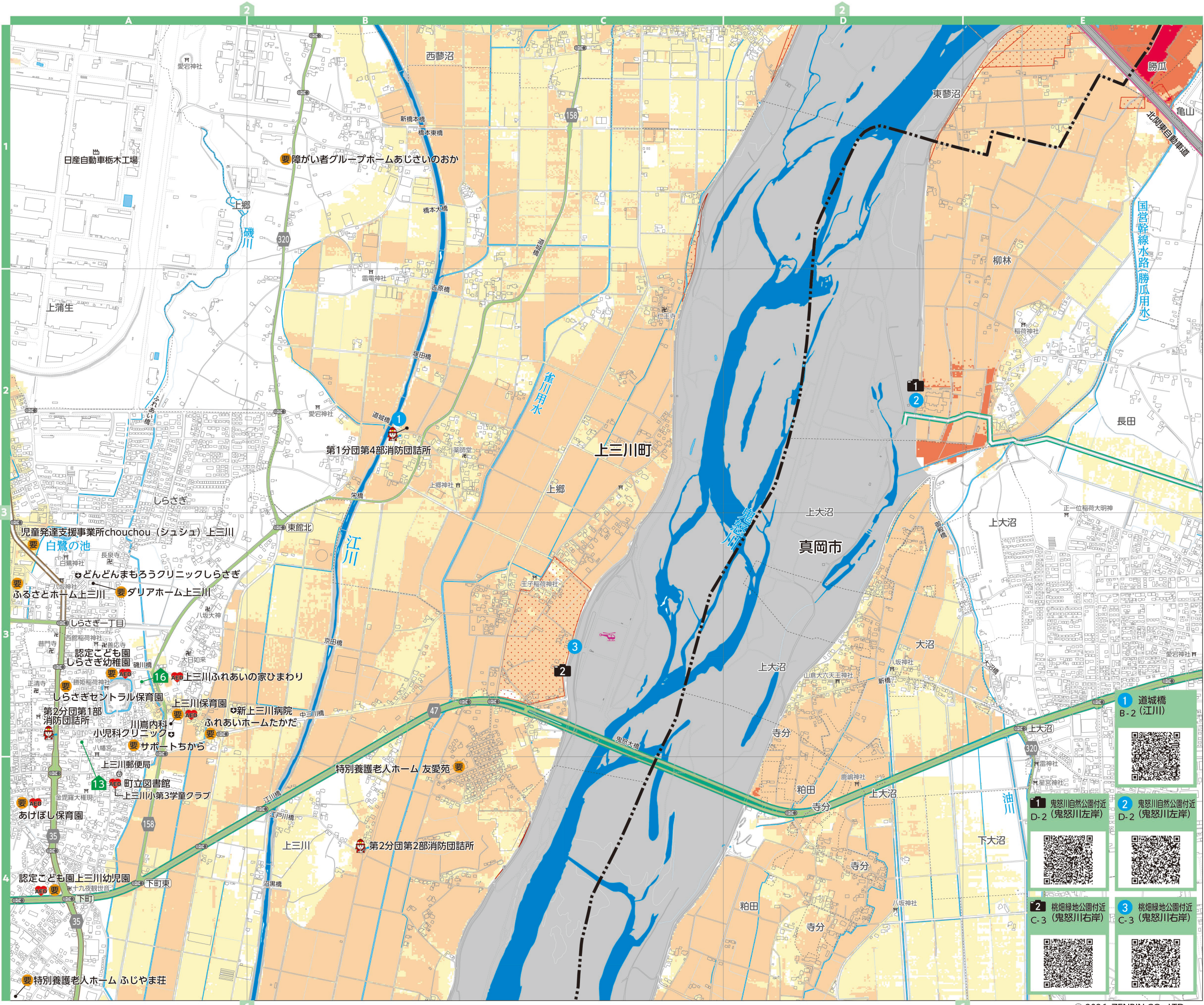
3.0～5.0m 未満の区域

0.5～3.0m 未満の区域

0.0～0.5m 未満の区域

対象河川

河川範囲



ハザードマップ(外水氾濫)



1 道城橋
B-2 (江川)



2 鬼怒川自然公園付近
D-2 (鬼怒川左岸)



3 鬼怒川自然公園付近
D-2 (鬼怒川左岸)



1 鬼怒川自然公園付近
D-2 (鬼怒川左岸)



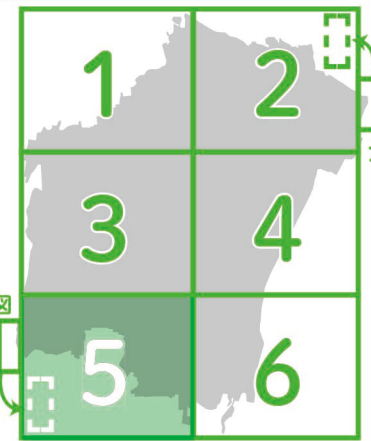
2 桃畑緑地公園付近
C-3 (鬼怒川右岸)



3 桃畑緑地公園付近
C-3 (鬼怒川右岸)

外水氾濫による 洪水浸水想定 (想定最大規模)

5



1

2

3

4

5

6

凡例

地図記号	表示項目	地図記号	表示項目
	指定緊急避難場所および指定避難所		町役場
	指定緊急避難場所および指定避難所(洪水以外)		消防署
	指定福祉避難所		消防団詰所
	要配慮者利用施設		警察署・交番・駐在所
	AED		医療機関
	災害時ヘリコプター離着陸場		郵便局
	水防倉庫		大規模工場
	防災倉庫		信号機・信号名
	水位観測所		駅
	河川カメラ		神社
	アンダーパス		寺院

令和元年台風19号の浸水実績エリア
 一次輸送道路
 二次輸送道路
 三次輸送道路
 高速道路
 国道
 主要地方道・県道

河川洪水浸水想定区域

(浸水した場合に想定される水深)

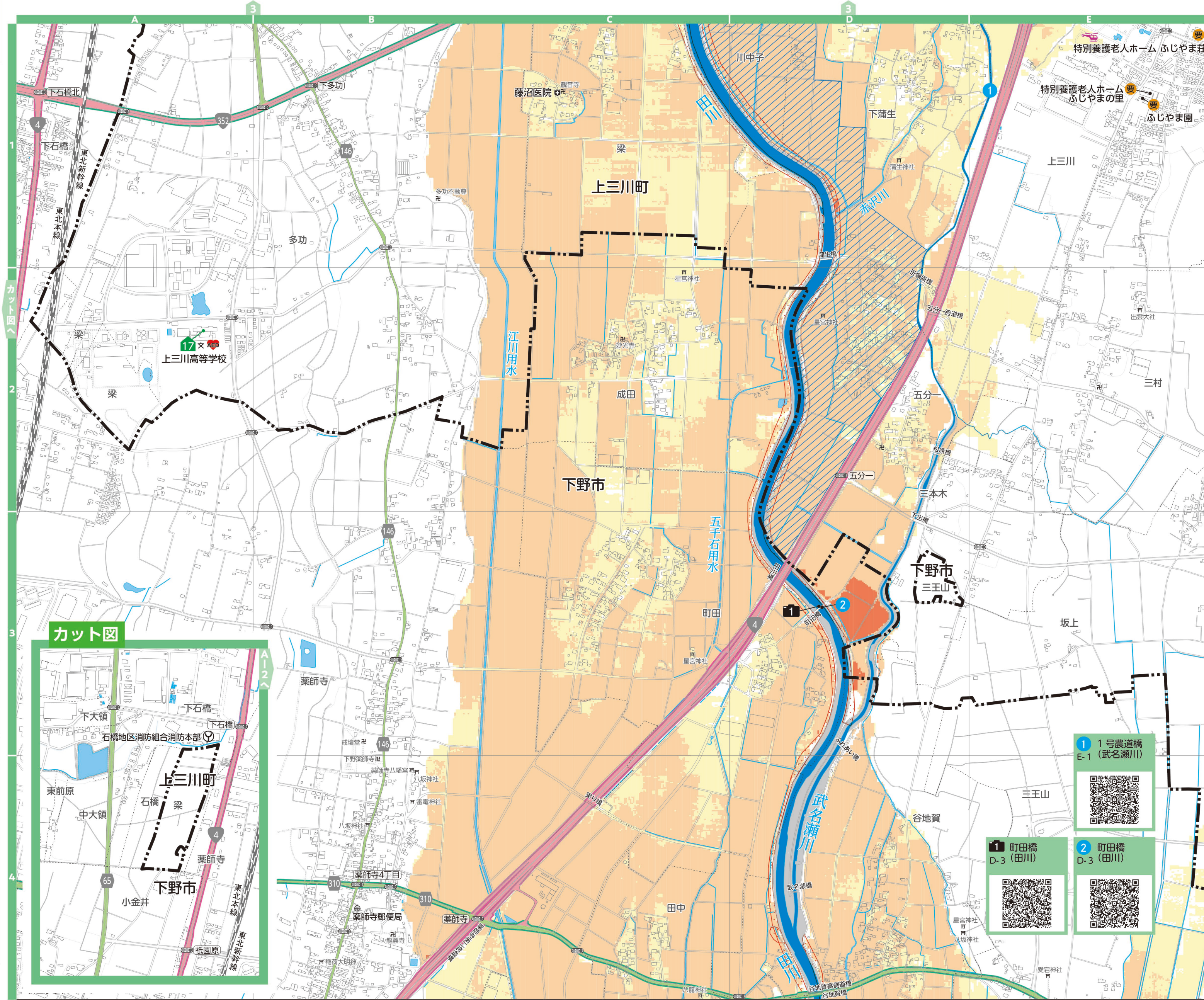
早期立退き避難が必要な区域

河岸浸食および氾濫流により家屋倒壊のおそれがある区域
 5.0～10.0m 未満の区域
 3.0～5.0m 未満の区域
 0.5～3.0m 未満の区域
 0.0～0.5m 未満の区域

対象河川
 河川範囲

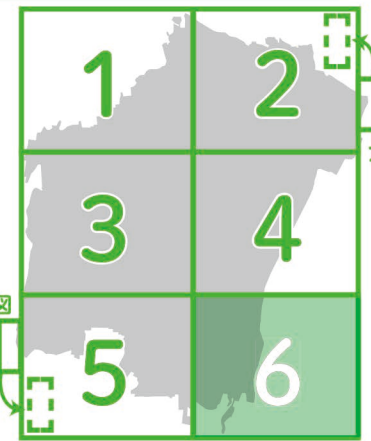
0 500m

縮尺：1/11,000

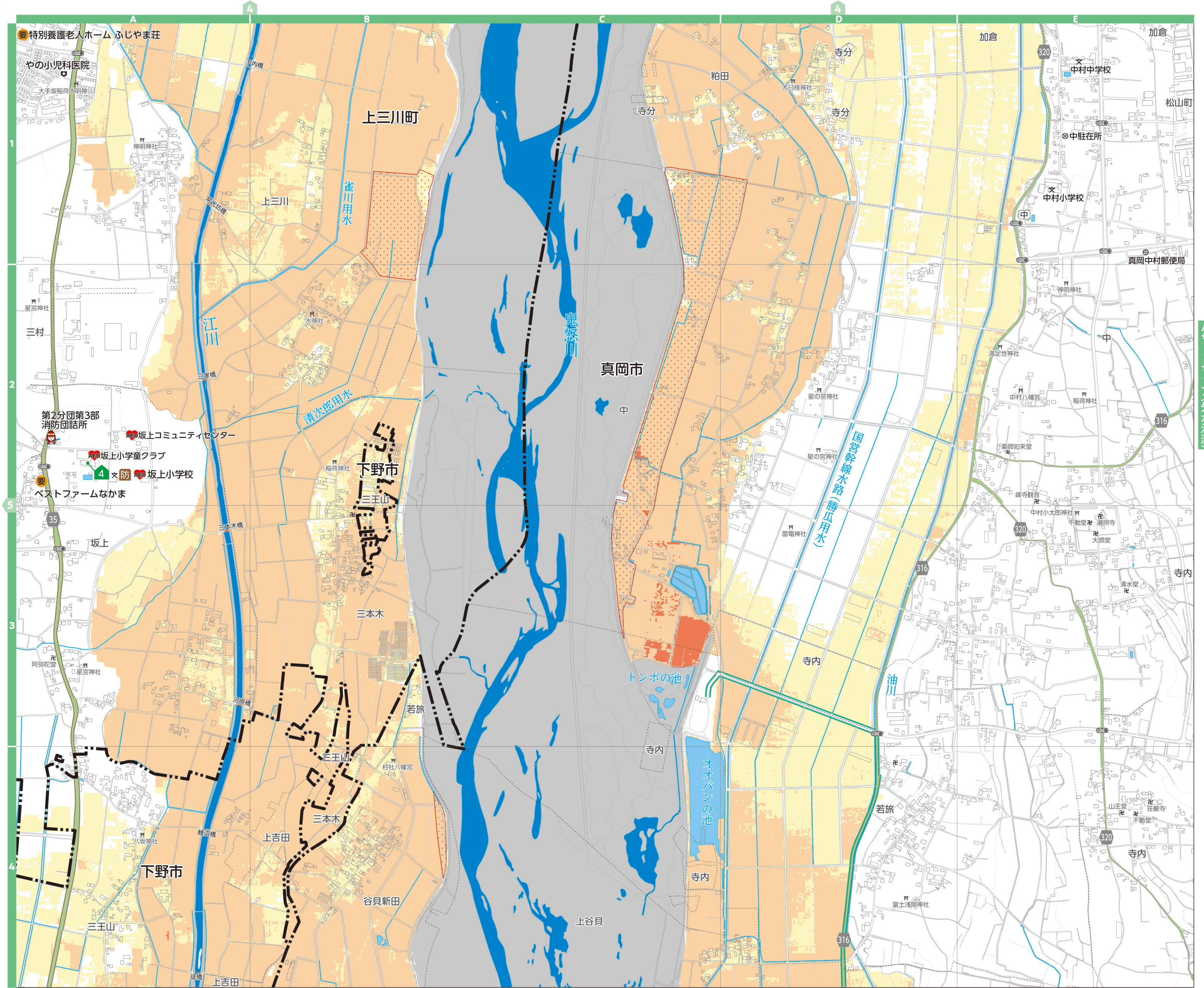


外水氾濫による 洪水浸水想定 (想定最大規模)

6

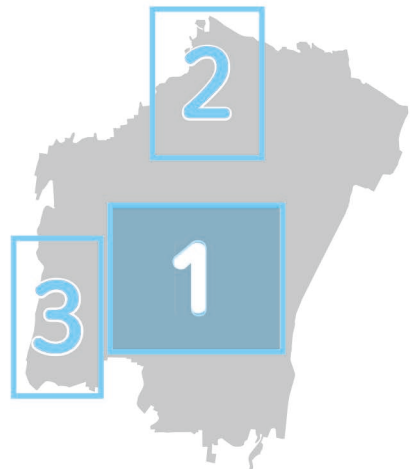


凡 例			
地図記号	表示項目	地図記号	表示項目
	指定緊急避難場所 および指定避難所		町役場
	指定緊急避難場所および 指定避難所(洪水以外)		消防署
	指定福祉避難所		消防団詰所
	要配慮者 利用施設		警察署・交番・ 駐在所
	AED		医療機関
	災害時ヘリコプター 離着陸場		郵便局
	水防倉庫		大規模工場
	防災倉庫		信号機・信号名
	水位観測所		駅
	河川カメラ		神社
	アンダーパス		寺院
		令和元年台風19号の 浸水実績エリア	
		一次輸送道路	
		二次輸送道路	
		三次輸送道路	
		高速道路	
		国道	
		主要地方道・県道	
河川洪水浸水想定区域 (浸水した場合に想定される水深)			
早期立退き避難が必要な区域			
	河岸浸食および氾濫流により 家屋倒壊のおそれがある区域		
	5.0 ～ 10.0m 未満の区域		
	3.0 ～ 5.0m 未満の区域		
	0.5 ～ 3.0m 未満の区域		
	0.0 ～ 0.5m 未満の区域		
	対象河川		
	河川範囲		



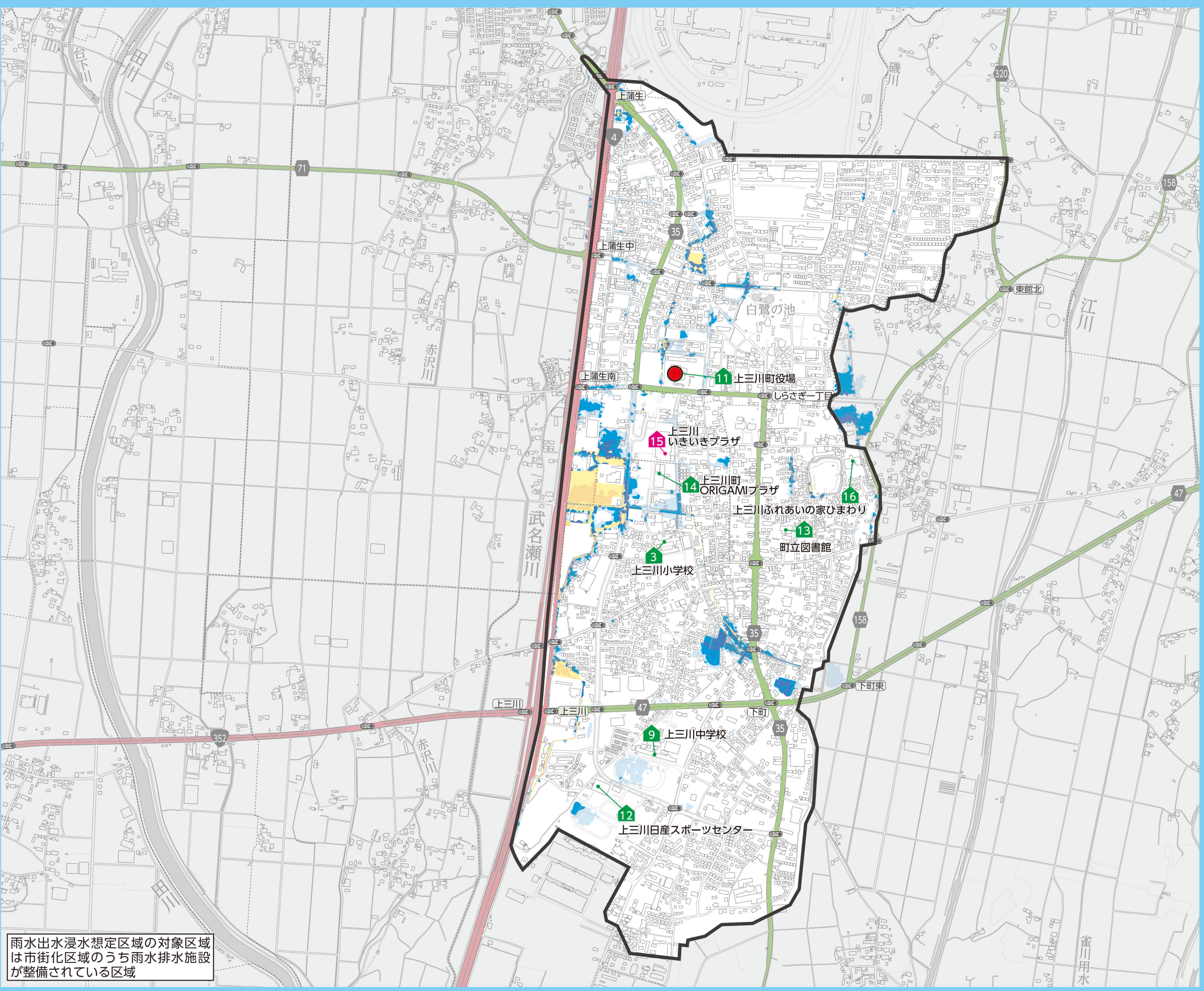
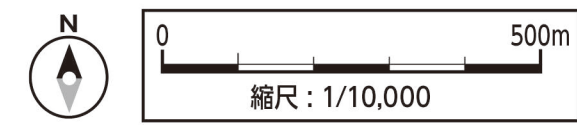
内水氾濫による
雨水出水浸水想定
(想定最大規模)

1



凡 例	
地図記号	表示項目
	指定緊急避難場所および指定避難所
	指定福祉避難所
	信号機・信号名
	町役場
	高速道路
	国道
	主要地方道・県道

雨水出水浸水想定区域 (浸水した場合に想定される水深)	
	2.0m 以上の区域
	1.0 ～ 2.0m 未満の区域
	0.6 ～ 1.0m 未満の区域
	0.45 ～ 0.6m 未満の区域
	0.3 ～ 0.45m 未満の区域
	0.2 ～ 0.3m 未満の区域

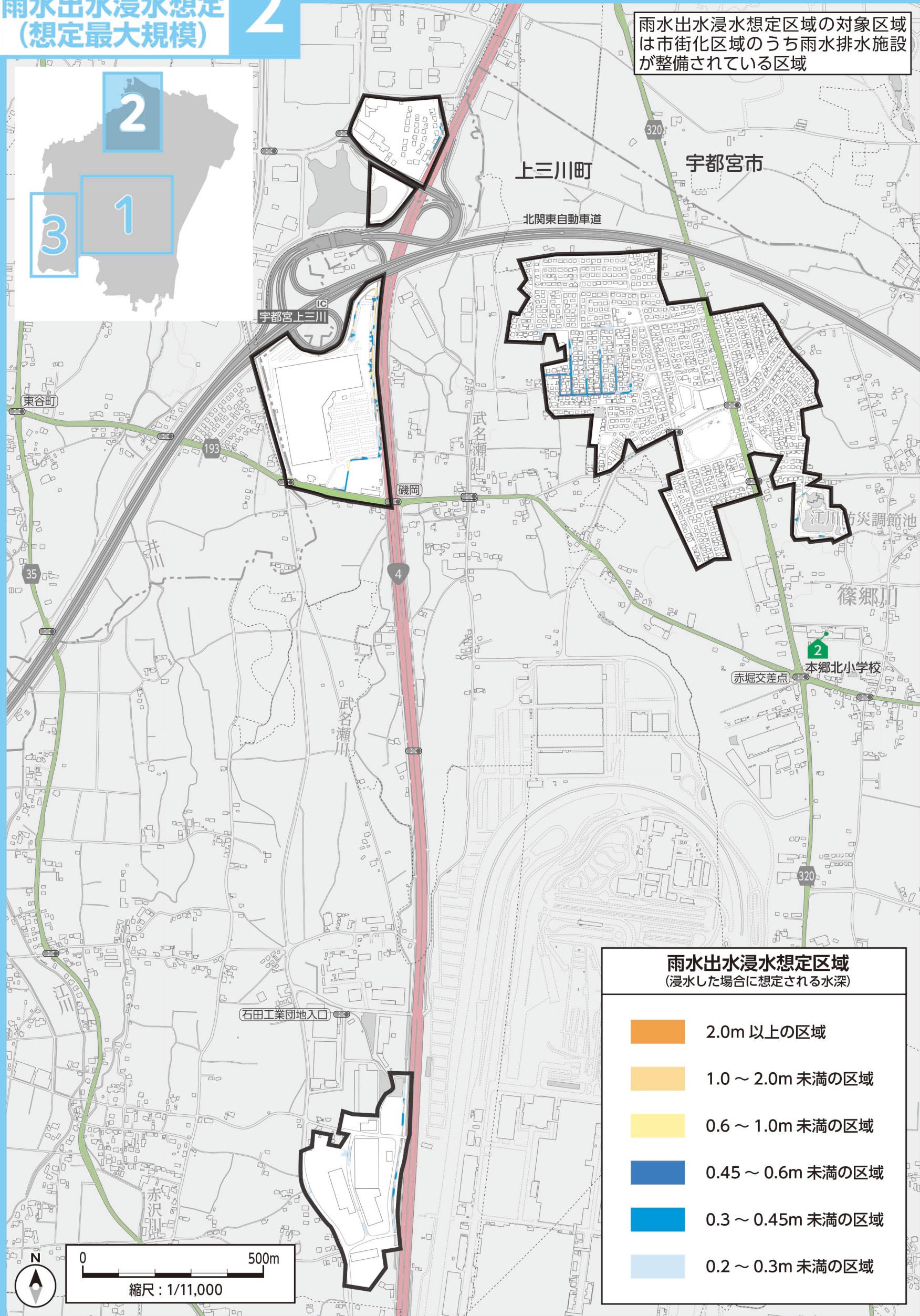


雨水出水浸水想定区域の対象区域
は市街化区域のうち雨水排水施設
が整備されている区域

内水氾濫による
雨水出水浸水想定
(想定最大規模)

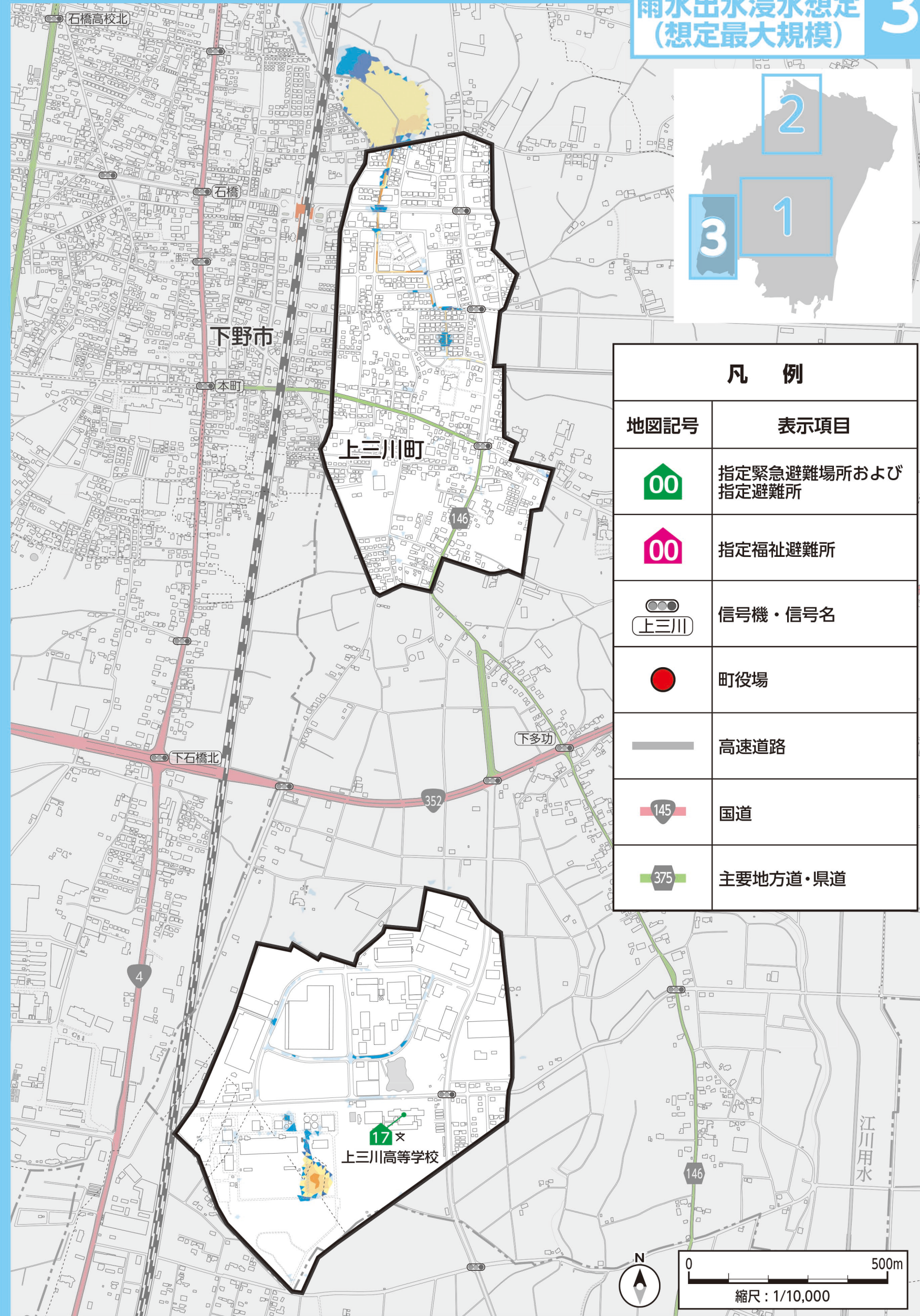
2

雨水出水浸水想定区域の対象区域
は市街化区域のうち雨水排水施設
が整備されている区域



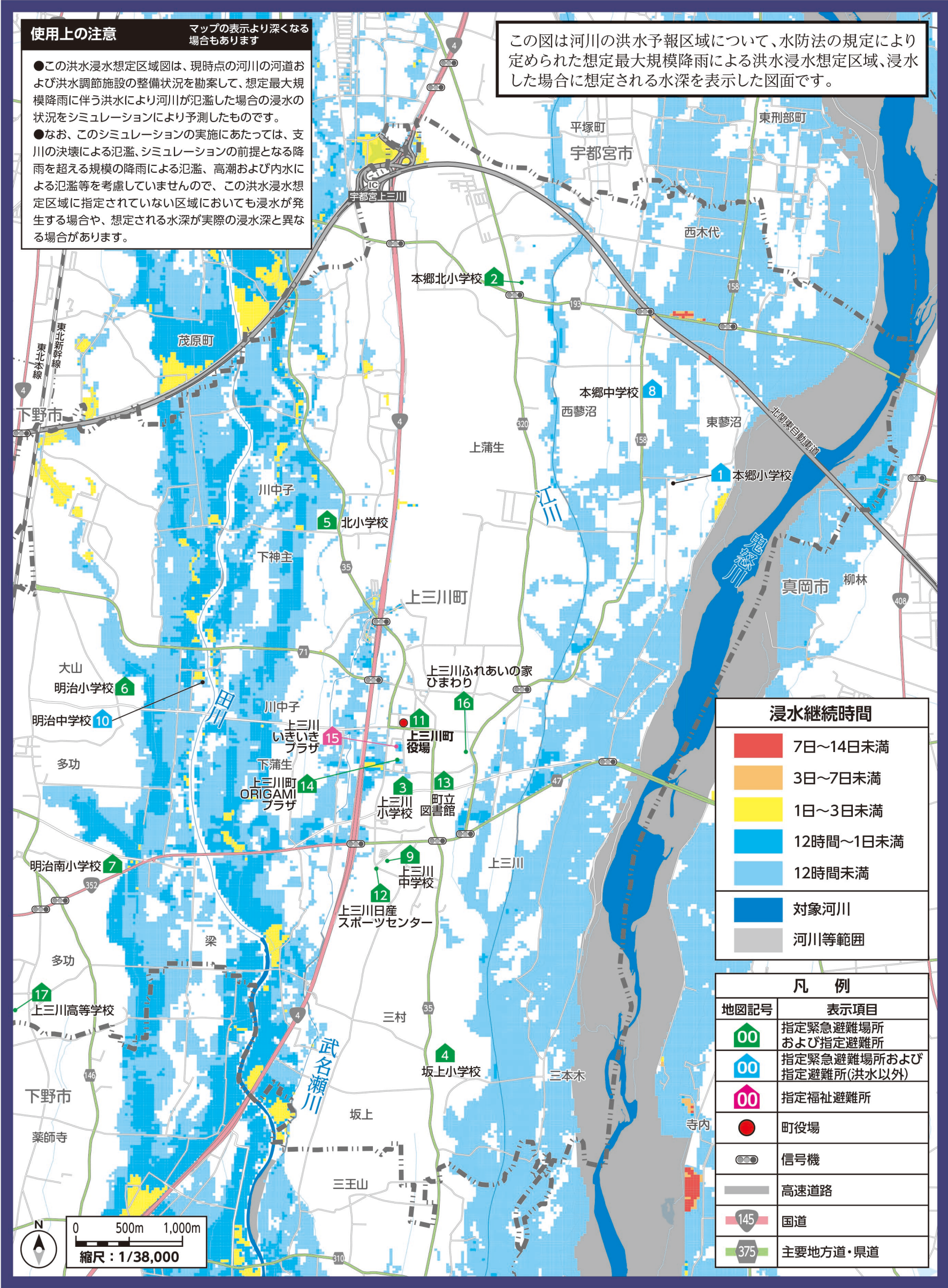
内水氾濫による
雨水出水浸水想定
(想定最大規模)

3



凡 例	
地図記号	表示項目
	指定緊急避難場所および指定避難所
	指定福祉避難所
	信号機・信号名
	町役場
	高速道路
	国道
	主要地方道・県道

洪水浸水想定区域図【浸水継続時間】



雷・竜巻や急な大雨など

雷・竜巻や急な大雨などから身を守るには

「雷」「竜巻」「急な大雨」「雹（ひょう）」などの激しい現象を引き起こすのは、発達した積乱雲です。積乱雲によるこれらの激しい現象から身を守るには、気象情報をこまめにチェックすることが大切です。

外出を予定している場合を例に、時間の流れに沿って、チェックする気象情報を見ていきましょう。

チェックする気象情報

外出前日

天気予報

雷を伴う
大気の状態が不安定
竜巻などの激しい突風

これらのキーワードが使われていたら要注意！ 天気の変化に備えましょう。

外出当日朝

天気予報

出かける前に天気予報でキーワードが使われているか再確認！
外出する時間帯の気象状況をイメージしましょう。

外出前

雷注意報

発表されていた場合は、天気の急変に備え外出中も気象情報をこまめにチェックするようにしましょう。

警報注意報発表状況▲

外出中

気象レーダー

スマートフォンなどで、気象レーダーや雷・竜巻の危険度を地図表示した「ナウキャスト」画像を確認。雨雲や雷などの様子をチェックしましょう。動画再生すると雨雲の動きも確認でき、今後の行動の参考になります。

気象レーダー▲
雷や竜巻のナウキャスト

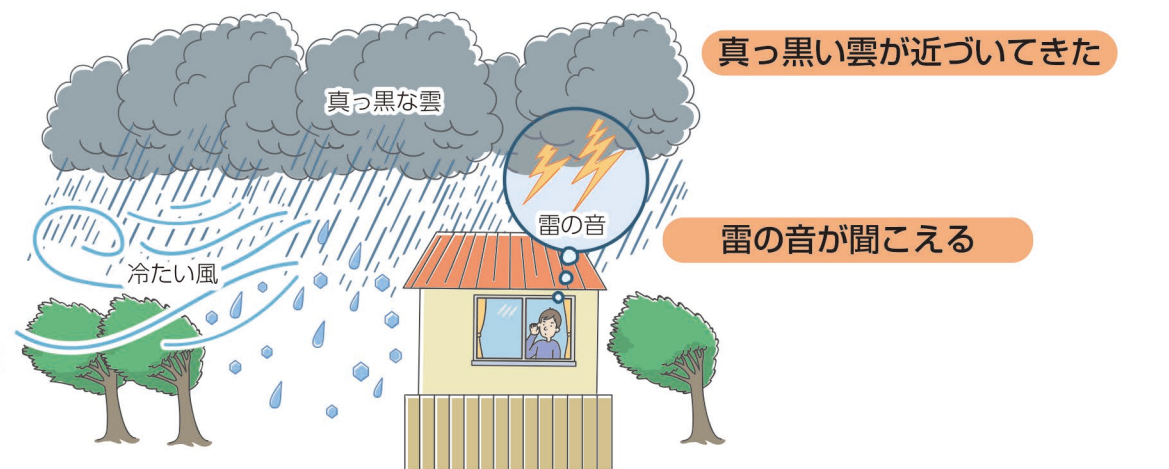
気象防災速報（竜巻注意）

気象防災速報（竜巻注意）は、竜巻などの激しい突風が起きやすい気象状況になっていることを呼び掛ける情報です。
発表された場合は、以下に示す「積乱雲が近づく兆し」がないか、周囲の空の様子に注意しながら過ごしましょう。

積乱雲が近づく兆しに気づいたら

これらの変化を感じたら、それは積乱雲が近づく兆しです。雹（ひょう）が降ることもあります。
すみやかに頑丈な建物の中など安全な場所に避難しましょう。

急に冷たい風が吹いてきた



台風などの風水害

風水害

大雨情報をキャッチ！

こんなときの
わが家の安全対策

大雨や強風はわたしたちに何度も大きな災害をもたらしています。普段から気象情報に十分注意し、避難の際もみんなで協力しましょう。

レベル5 大雨特別警報

大雨により重大な災害の起こるおそれが著しく大きいと予想される場合に発表する警報
命の危険 直ちに安全確保！

レベル4 大雨危険警報

大雨により重大な災害の起こるおそれが大きいと予想される場合に発表する警報
危険な場所から全員避難

レベル3 大雨警報

大雨により重大な災害の起こるおそれがあると予想される場合に発表する警報
避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など

レベル2 大雨注意報

大雨により災害が起こるおそれがあると予想される場合に発表する予報
避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）

気象防災速報 (記録的短時間大雨)

大雨警報が発表されているときに、数年に1回程度発生する激しい短時間の大雨を観測、または解析したことを発表する情報

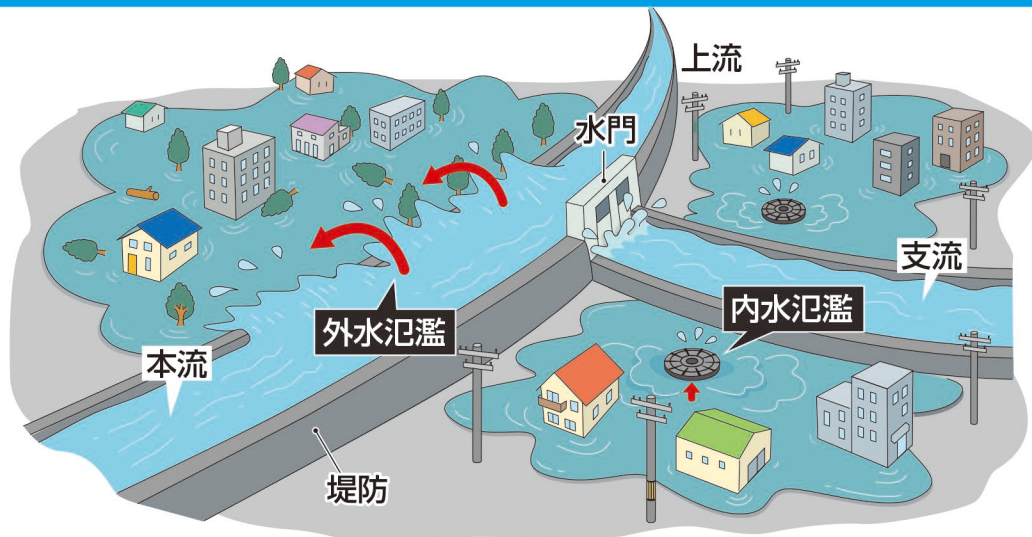
気象防災速報 (線状降水帯発生)

大雨による災害発生の危険度が急激に高まっている中で、線状の降水帯により非常に激しい雨が同じ場所で実際に降り続けている状況を「線状降水帯」というキーワードを使って解説する情報

氾濫の種類

外水氾濫

河川の水位が上昇し、堤防を越えたり破堤するなどして堤防から水があふれ出す。



内水氾濫

下水道・支川等の雨水排水能力を上回り浸水する。あるいは河川水位の上昇により、下水道・支川等から河川へ放流できず浸水する。

集中豪雨

前線や低気圧などの影響や雨を降らせやすい地形の効果によって、積乱雲が同じ場所で次々と発生・発達を繰り返すことにより起こる集中豪雨では、激しい雨が数時間にわたって降り続き、狭い地域に数百mmの総雨量となります。大雨によって河川の氾濫や土砂災害が発生しています。

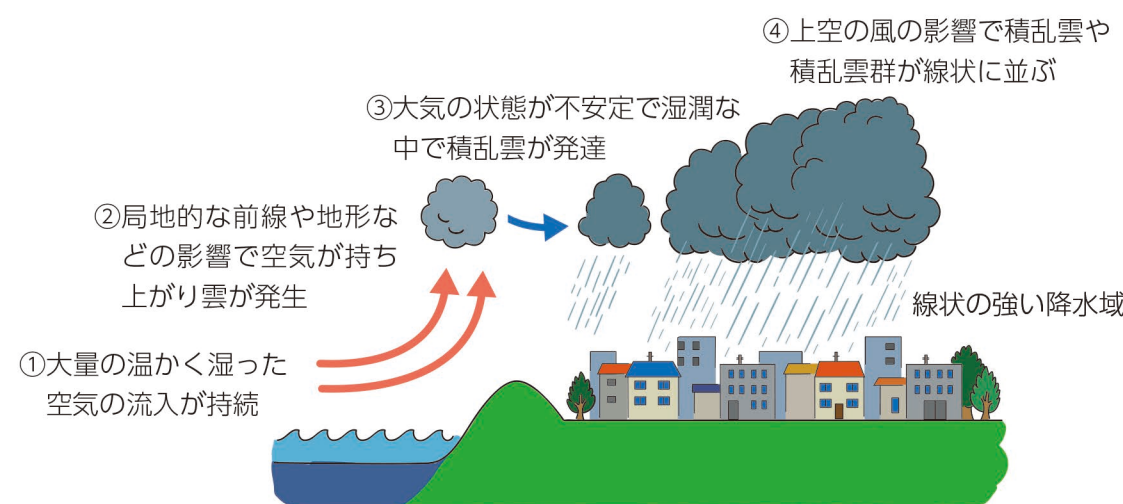


アンダーパス
(地下道)
にも注意！

前後区間と比べて急激に道路の高さが低くなっている区間を「アンダーパス」と呼んでいます。アンダーパスに設置した排水ポンプの能力を超える大雨となった場合、アンダーパスに水がたまってしまいます。

線状降水帯

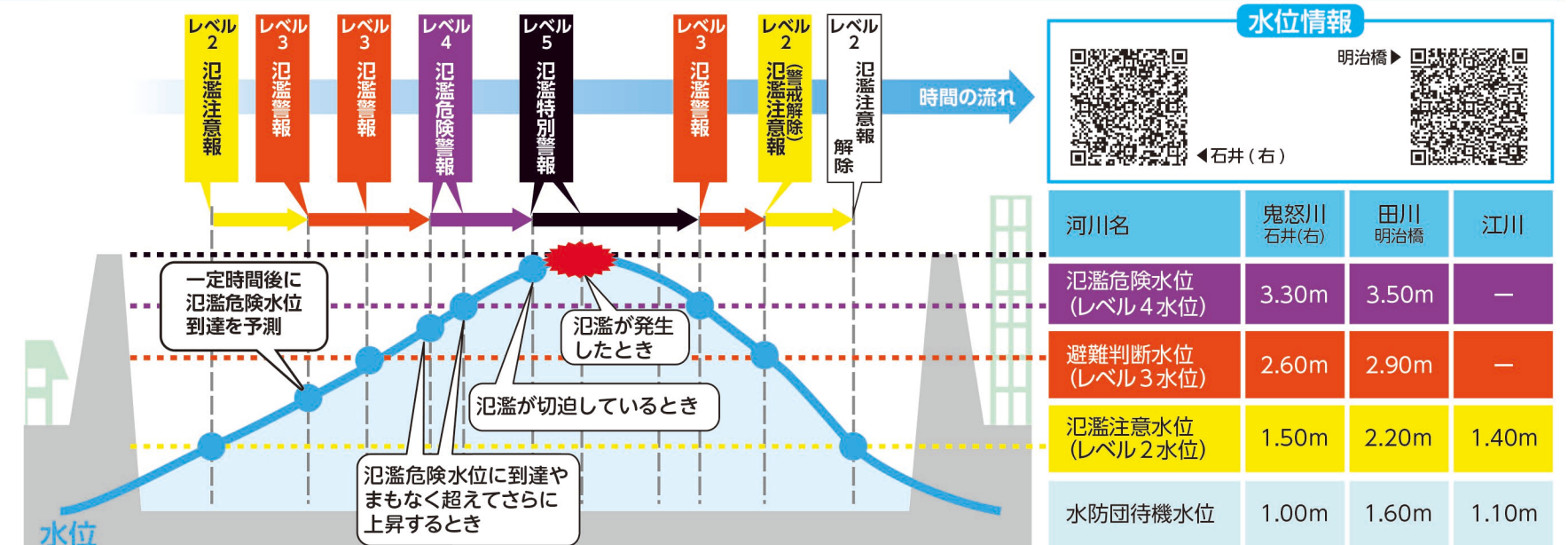
次々と発生する発達した雨雲（積乱雲）が列をなした、組織化した積乱雲群によって、数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞することで作り出される、線状に伸びる長さ50～300km程度、幅20～50km程度の強い降水をとまなう雨域を線状降水帯といいます。



風水害

河川の危険水位と洪水予報

河川ごとに設定された以下の危険水位に応じ、河川管理者と気象庁から洪水予報が発表されます。自治体はこの情報を目安にして、避難に関する情報を発令します。



雨の強さと降り方 [雨量の単位は1時間に降る雨量(mm)]

防災気象情報の中で「激しい雨」「非常に強い風」などと表現される雨や風は実際どのような降り方、吹き方をするのでしょうか。雨・風の強さに応じた人や建物などへの影響のしかたを示した表によって、雨や風の強さを数値だけでなく具体的なイメージで防災気象情報をより身近なものにしましょう。

10～20mm未満 やや強い雨	20～30mm未満 強い雨	30～50mm未満 激しい雨	50～80mm未満 非常に激しい雨	80mm以上 猛烈な雨
ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る (ゴーゴーと降り続く)	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる

風の強さと吹き方 [風速の単位m/sは、1秒間に進む距離(m)]

10～15m/s未満 やや強い風	15～20m/s未満 強い風	20～30m/s未満 非常に強い風	30m/s以上 猛烈な風
風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない	風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る。高所での作業はきわめて危険	何かにつかまっていけないと立っていられない。飛来物によって負傷するおそれがある	屋外での行動はきわめて危険

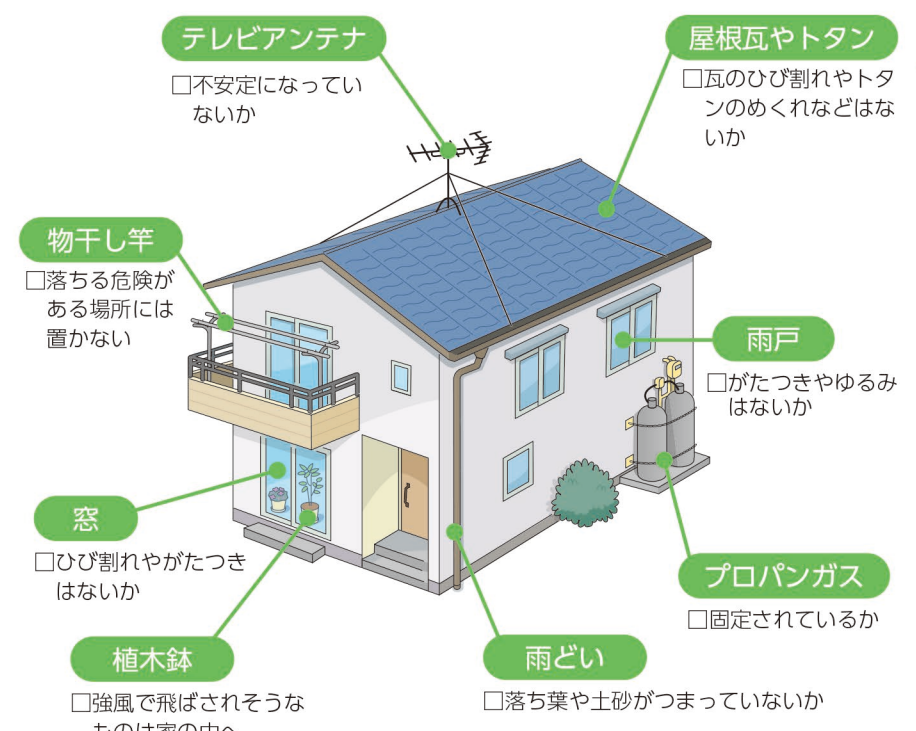
台風の大きさと強さ

台風の接近が予想される際は、台風情報に十分注意し、被害のないように備えることが必要です。

大きさ	風速15m/s 以上の半径
大型(大きい)	500km以上～800km未満
超大型(非常に大きい)	800km以上

強さ	最大風速
強い	33m/s(64ノット)以上～44m/s(85ノット)未満
非常に強い	44m/s(85ノット)以上～54m/s(105ノット)未満
猛烈な	54m/s(105ノット)以上

台風への備えチェック



雪害

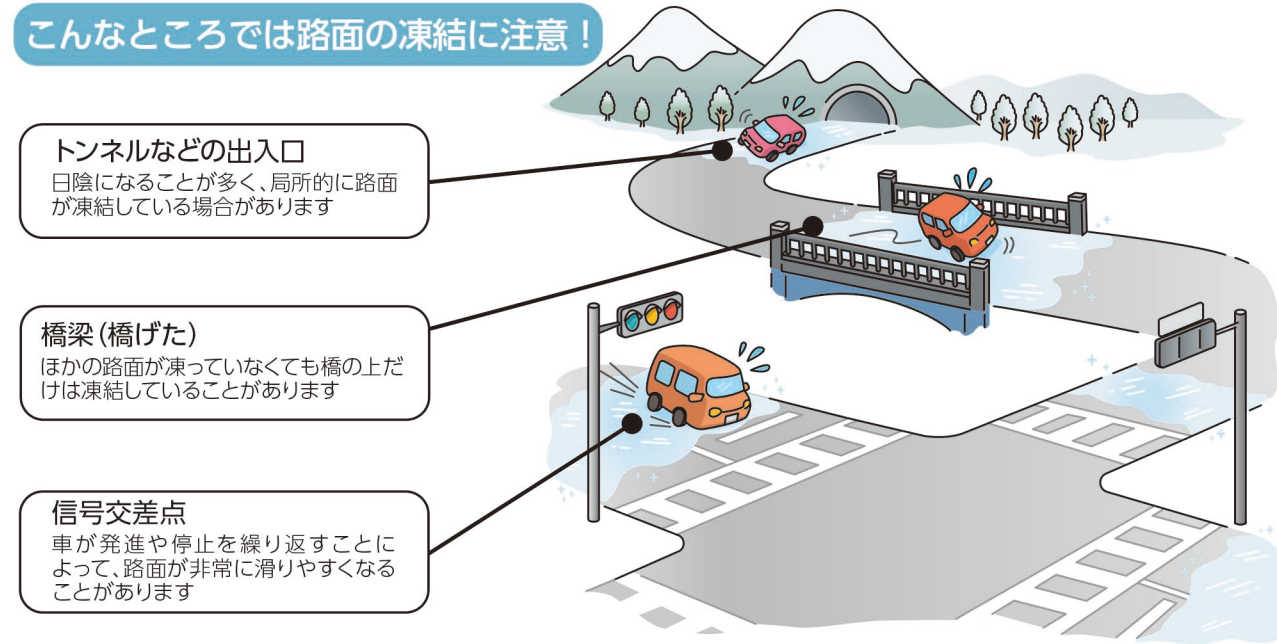
大雪災害

雪崩、除雪中の転落事故などの豪雪地帯特有の災害のほか、路面凍結などによる交通事故や歩行中の転倒事故など、豪雪地帯以外でも発生する災害もあります。雪害に遭わないためにも、雪に対する正しい知識を深めておくことが大切です。

車による雪道での注意点

降雪時、降雪後には路面の凍結や視程障害（吹雪などによる視界不良）による事故に注意が必要です。

こんなところでは路面の凍結に注意！



他には…

- スムーズに発進
マニュアル車なら2速で、オートマ車ならクリープ現象を利用して、やんわりと発進しましょう
- フットブレーキを多用しない
下り坂や交差点ではフットブレーキのみに頼らず、エンジンブレーキを活用しましょう
- カーブでのブレーキ
カーブ手前の直線のうちにブレーキングやシフトダウンを終わしましょう
- わだちのある道の運転
わだちに沿って走った方が車は安定します
- 降雪時・吹雪の運転
日中でもライトを点灯させ、溜まった雪はデフロスターを使って溶かしましょう

火災

初期消火について

火災を発見したら

ひとりで火を消そうとしたり、怖くなって黙って逃げたりすると、火災の被害が増大するおそれがあります。周囲の人と協力して、通報、初期消火、避難誘導などの役割分担をしましょう。危険を感じたら、すぐに避難しましょう。

1 早く知らせる

- 「火事だー」と大声を出して周囲の人に知らせる。声が出なかったら、手近にある洗面器や鍋などをカンカンと叩いて、大きな音を出す。
- 火災を発見した人は、消防（119番）に通報する。



2 早く消火する

- 燃えているところに近づきすぎず、適切な距離を保ち初期消火する。
- 「濡れた衣類をかける」「ふたをして消す」などではなく、適切な消火器具、消火設備を使う。

3 早く逃げる

- 火が天井に移ってしまったときや、危険を感じたときは、すみやかに避難する。
- 煙を吸いこまないようにハンカチやタオルなどで口と鼻をおおい、低い姿勢で煙の下を逃げる。
- 炎や煙の拡散を防止するため、閉められる戸を閉める。



火災

いのちを守る11のポイント

◆4つの習慣



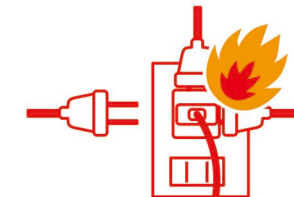
- 1 **寝たばこ**は絶対にしない、させない



- 2 **ストーブ**の周りに燃えやすいものを置かない

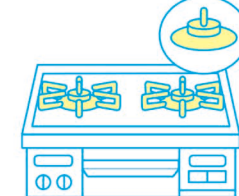


- 3 **コンロ**を使うときは火のそばを離れない



- 4 **コンセント**はほこりを清掃し、不要なプラグは抜く

◆7つの対策



- 1 火災の発生を防ぐために、ストーブやコンロ等は**安全装置**のついた機器を使用する



- 2 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類およびカーテンは、**防災品**を使用する



- 3 高齢者や身体の不自由な人は、**避難経路と避難方法**を常に確保し、備えておく



- 4 火災の早期発見のために、**住宅用火災警報器**を定期的に点検し、10年を目安に交換する



- 5 火災を小さいうちに消すために、**消火器**等を設置し、使い方を確認しておく



- 6 防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、**地域ぐるみの防火対策**を行う



- 7 一定規模以上の揺れを感知すると、ブレーカーを自動的に落として、電気火災を防ぐ**感震ブレーカー**を設置する

消火器の使い方

消火器は、火災の起きている場所の近くまでは片手または両手で搬送し、消火に安全な場所、概ね7、8mまで近づきます。そこで操作をしないと運んでいる間に誤射し、火災現場に到着したときには、放射し終わってしまうこともあります。消火器が重く、片手で運べない人は、両手で抱えるように搬送し、障害物にぶつけないよう気をつけて運びます。

使い方手順

- 1 まず最初に黄色の安全ピンを引き抜きます。



- 2 次にホースを外し火元に向けます。



- 3 そしてレバーを強く握って放射します。消火器が重いときは、消火器を置いたままレバーを握って放射する方法もあります。



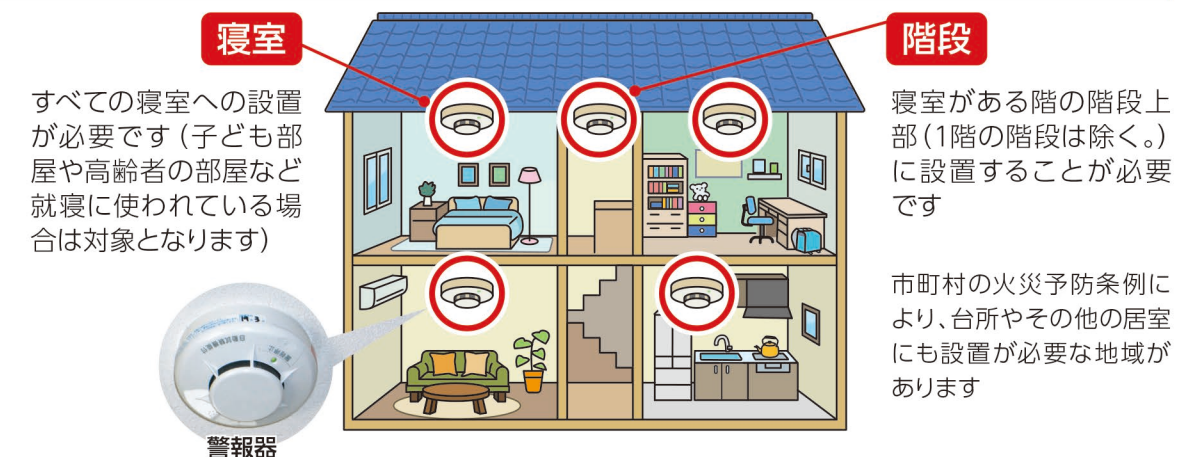
放射の際は、火の根元をねらって、手前からほうきで掃くように消火剤を放射して下さい。消火剤を効果的に放射するため、また、自分の身を守るために消火器は風上から放射します。室内においては、逃げ道を確保し、出入り口を背に放射します。放射時間や放射距離は、本体に必ず表示してありますので確認してください。



- ◆ ホースは、先端を持ちましょう。ホースの途中を持つとホースの圧力などからねらいが定まらず、的確な場所に放射できないおそれがあります。

住宅用火災警報器の設置義務化

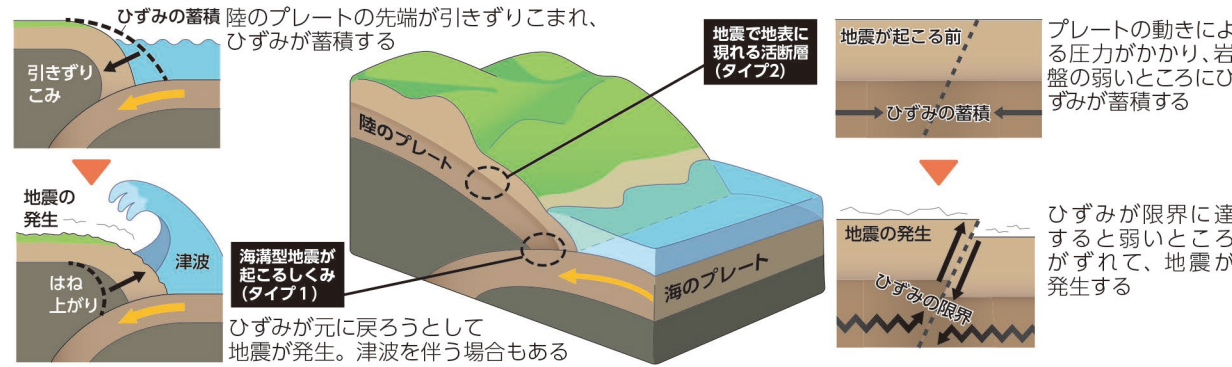
家庭内での火災の発生をいち早くキャッチし、知らせてくれるのが、住宅用火災警報器です。住宅用火災警報器は、火災により発生する煙を感知し、音や音声により警報を発して火災の発生を知らせてくれる機器です。通常は、感知部と警報部が一つの機器の内部に含まれていますので、機器本体を天井や壁に設置するだけで、機能を発揮します。



地震災害

発生のおきみ

地球の表面は、海や陸など十数枚に分かれたプレート(岩盤)で覆われています。海の下では新しいプレートが生まれ、年間数 cm の速さで広がって陸のプレートに押し寄せます。海のプレートは陸のプレートより重いので、その下に沈み込みます。このとき、沈み込むとする海のプレートと、それを押さえる陸のプレートの境界では強い摩擦が生じ、プレートにひずみがたまり、ひずみが限界に達すると、亀裂が入ったり大きく動いたりします。これが地震なのです。



地震によって想定される揺れと被害

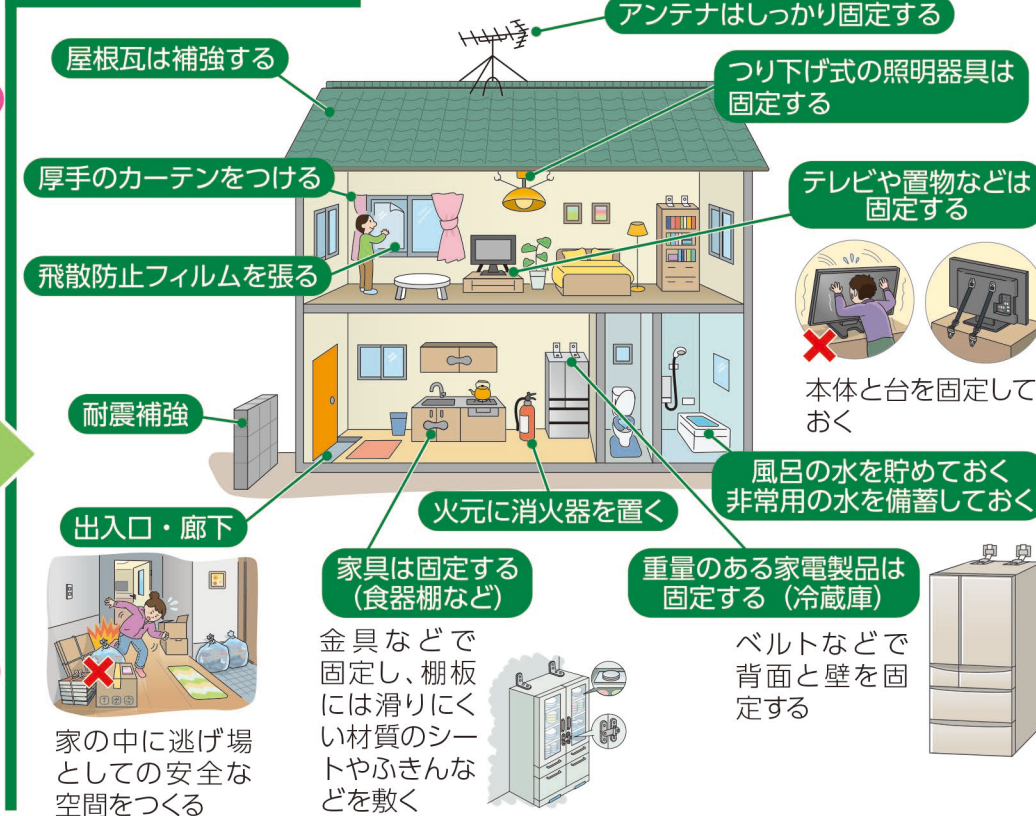
震度 4	○ほとんどの人が驚く ○電灯などのつり下げ物は大きく揺れる ○座りの悪い置物が、倒れることがある		震度 6 弱	○立っていることが困難になる ○壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある ○耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある ○倒れるものもある	
震度 5 弱	○大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる ○棚にある食器類や本が落ちることがある ○固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある		震度 6 強	○はわないと動くことができない ○固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える ○耐震性の低い木造建物は、傾くものや倒れるものが増える	
震度 5 強	○物につかまらなと歩くことが難しい ○棚にある食器類や本で落ちるものが増える ○補強されていないブロック塀が崩れることがある		震度 7	○耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある ○耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える	

わが家の安全対策

安全対策していないと...



安全対策しましょう!



地震災害

地震が起きたら

地震による災害は、建物倒壊、火災の発生、土砂崩れ、液状化現象などがあります。建物倒壊や土砂崩れなどによって道路が通れなくなったり、線路の安全確認により電車が動かなくなる交通障害もあります。また停電や都市ガスの停止、水道の断水が起こる場合もあり、電話やインターネットもつながりにくくなります。

地震のときの行動は？

地震の揺れを感じた場合や緊急地震速報を見聞きした場合は、あわてずにまずは身の安全を確保してください。そして落ち着いてテレビやラジオ、携帯電話やスマートフォンなどで正確な情報の把握に努めましょう。

地震発生

1~2分

3分

5分

10分

数時間

3日

最初の大きな揺れは約1分間

- あわてずに身の安全を確保する

揺れがおさまったら

- 火元を確認する 火が出たら、落ち着いて初期消火する
- 家族の安全を確認する 倒れた家具の下敷きになっていないか確認する
- 靴をはく 家の中はガラスの破片が散乱。靴や厚手のスリッパをはく
- 避難するときは、屋根瓦の落下・ブロック塀の倒壊・自動販売機などの転倒に注意する



みんなの無事を確認 火災の発生を防ぐ

隣近所に声を掛けよう

- 要配慮者の安全を確保する
- 隣近所で助け合う
- 行方不明者はいないか確認する
- ケガ人はいないか確認する

出火防止 初期消火

- 消火器を使う
- 余震に注意する
- 漏電・ガス漏れに注意する 電気のブレーカーを下ろす・ガスの元栓を閉める



テレビ・スマートフォン・ラジオなどで正しい情報を確認する

- 防災機関、自主防災組織の情報を確認する
- デマにまどわされないようにする
- 避難時に車は極力使用しない
- 電話は緊急連絡を優先する



協力して消火活動、救出・救護活動をする

- 水、食料は蓄えているものでまかなう
- 災害・被害情報を収集する
- 壊れた家に入らない
- 近くの人を救出・救護する



屋内にいる場合

家の中

- 頭を保護しながら丈夫な机の下などに隠れる
- 火の確認はすみやかにする(ガスの元栓の処置も忘れずに)
- 高齢者や障がい者、乳幼児など要配慮者の安全を確保する
- 裸足で歩き回らないようにする(ガラスの破片などでケガをする)

大規模店舗や集客施設にいるとき

- つり下がっている照明などの下から避難する
- あわてて出口や階段に殺到しない

エレベーターに乗っているとき

- 最寄りの階で停止させて、すぐに降りる

屋外にいる場合

路上

- ブロック塀や自動販売機には近づかず、ビルの壁、看板や割れた窓ガラスなどの落下に注意する
- 頭をカバンなどで保護する

車を運転中

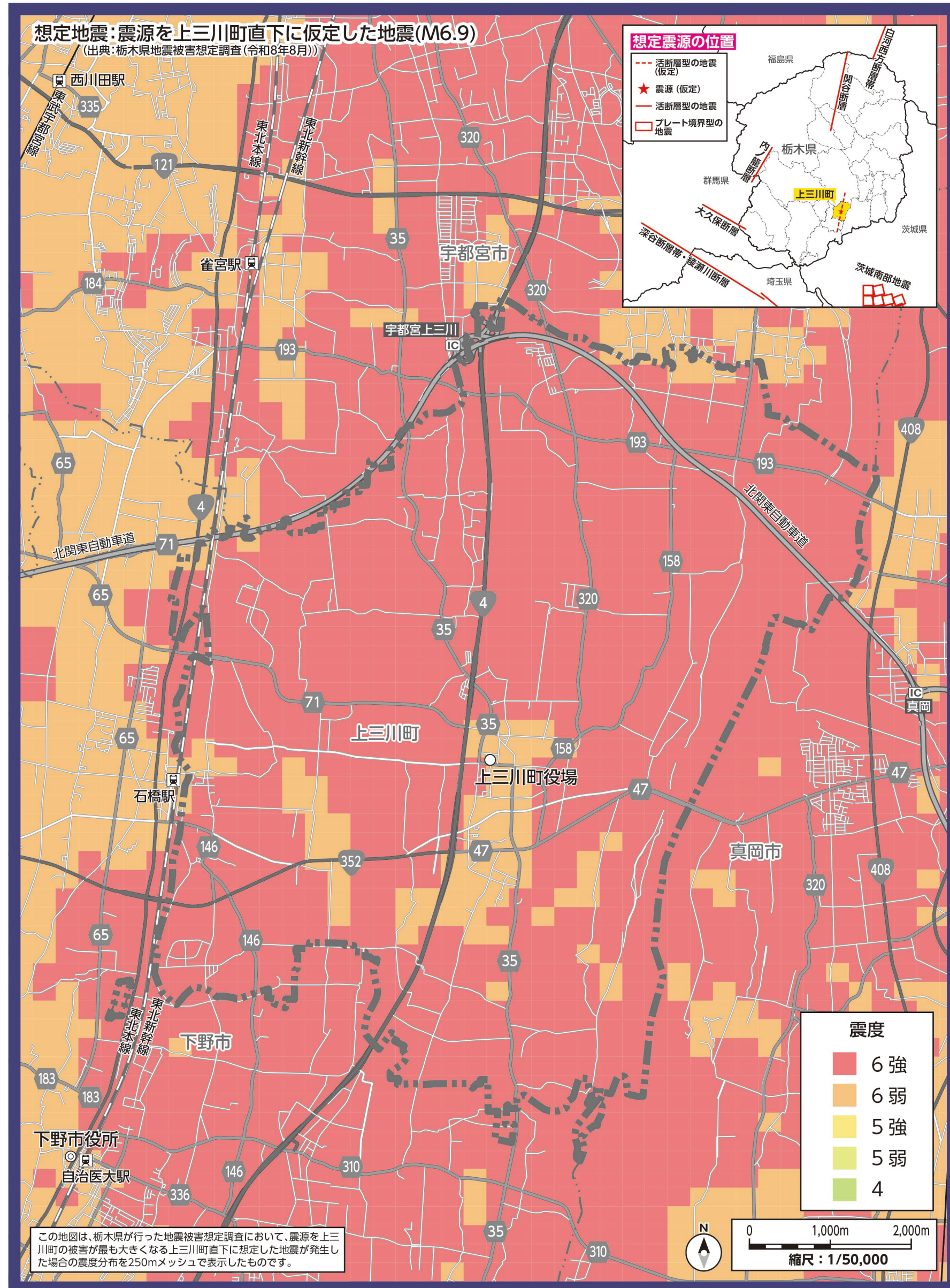
- あわてて急ハンドルや急ブレーキをかけず徐々に速度を落とす
- 避難するときは、キーはつけたまま、ドアロックもしない
- 車検証などの貴重品を忘れずに持ち出す

山や崖付近にいるとき

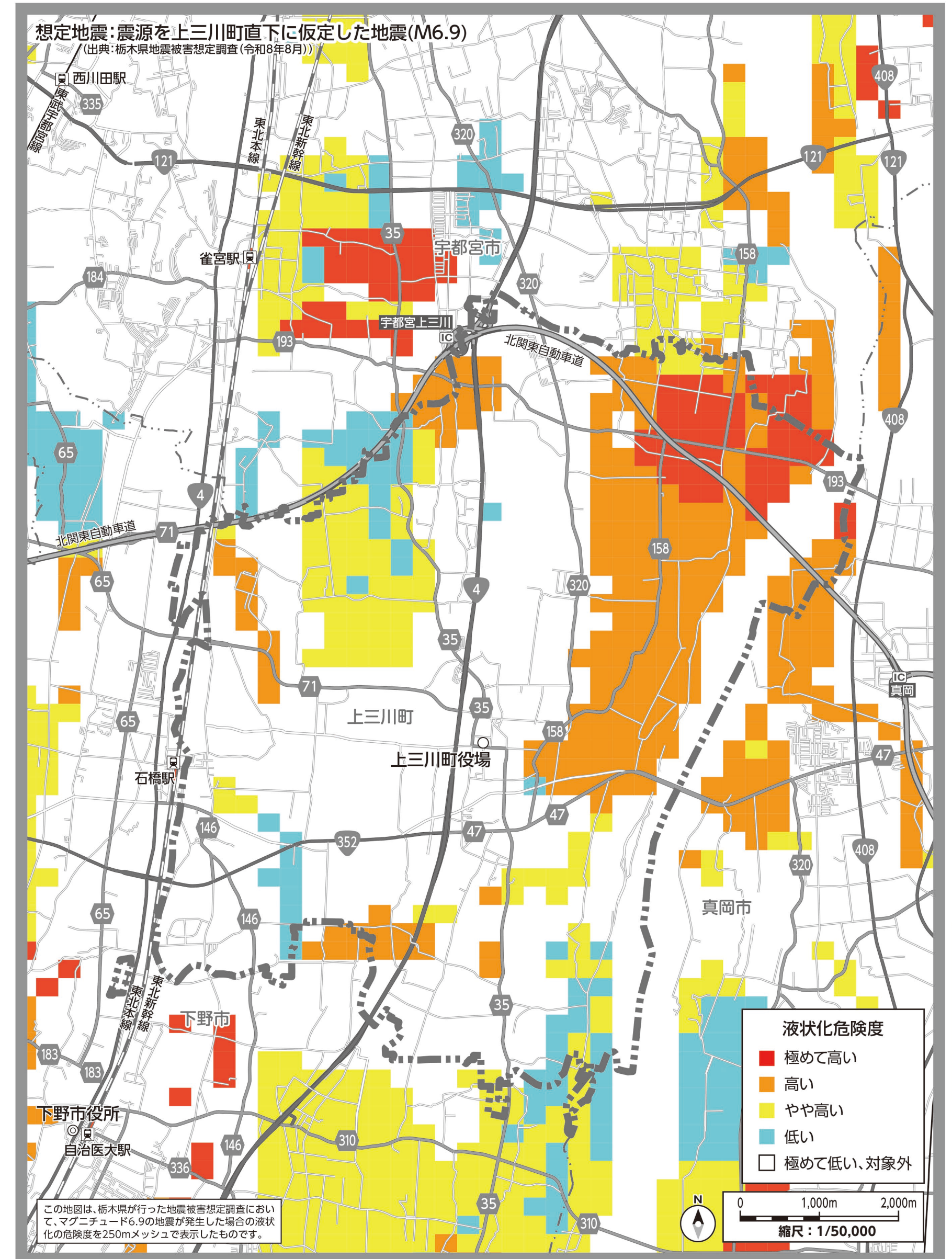
- 落石や崖崩れに注意し、できるだけその場から離れる



震度分布図



液状化危険度分布図



地域ぐるみで防災に取り組もう

自主防災組織とは

自主防災組織とは、地域住民が「自分たちの地域は自分たちで守る」という共助の意識を持って、次のような防災活動を行うために自主的に結成する団体のことです。

自主防災組織の活動

平常時

災害時に効果的な活動ができるよう、避難訓練や備蓄などの必要な災害への備えを行います。避難訓練を企画し、住民への参加を呼び掛け実施します。訓練の際にはハザードマップの活用が浸透するよう住民へ周知することも重要です。早期立退き避難が必要な区域の住民に対しては、年に1度以上の避難訓練を実施するなど防災に関する正しい知識を共有します。各家庭でも災害に備え、自主防災組織への積極的な参加を促します。

防災訓練の実施



日ごろからの声掛け (要配慮者の把握など)



防災資機材の整備



災害時

自主防災組織は初動対応以降も復旧・復興に向けて、他団体と連携しながら、継続的な活動が求められ、災害時の活動においては、自身および家族の安全確保を前提として活動します。

隣近所の安否確認



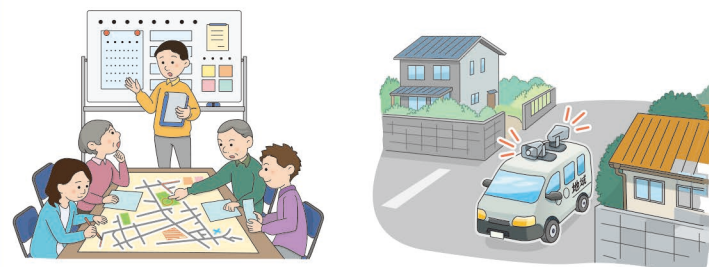
隣近所に声を掛け合い、要配慮者への早めの避難を促す

避難誘導



避難するときは、2人以上で行動する

情報収集・伝達



要配慮者への情報伝達方法も記載しておく

隣近所の人と協力し合えば、大きな力が発揮できます。災害の際に被害を軽減し、安全・安心を確保するため、地域の皆さんで自主防災組織をつくりましょう。町は自主防災活動を支援しています。自治会で自主防災活動を行いたい、組織を結成したい、防災訓練を実施したい等の相談がありましたら総務課 防災係 ☎0285-56-9115 にお問い合わせください。

避難の種類

立退き避難

「立退き避難」とは、災害の危険がある場所にいる人が、自宅や施設にとどまると命が脅かされるおそれがあるため、安全な場所へ移動することをいいます。これは、災害時に最も基本となる大切な行動です。避難先は、必ずしも指定された避難所である必要はありません。親戚や知人宅、ホテルや旅館など、安心して過ごせる場所も避難先として利用できます。いざというときにあわてないように、複数の避難先をあらかじめ考えておくことが大切です。

避難所

自宅の被害が想定され生活できない場合、自宅の周囲に不安がある場合などは避難所へ避難しましょう。食料や感染症対策に関する物品を必ず持参しましょう。

親戚・知人宅

災害の危険性がない、安全な地域にある親戚や知人宅へ避難しましょう。日ごろから連絡をとって確認しておきましょう。

ホテル・旅館

災害の危険性がない、安全な地域にあるホテルや旅館へ避難しましょう。通常の宿泊料が必要なので、事前に予約・確認しましょう。

屋内安全確保(垂直避難)

「屋内安全確保」とは、洪水の際に、外に出て指定された避難場所等へ向かうのではなく、自宅や施設の上層階に移動することで、計画的に身の安全を確保する行動です。ハザードマップ等で想定される浸水の深さを事前に確認したうえで、以下の3つの条件に当てはまる場合に、住民の皆さん自らの判断で選ぶことができます。

1 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない
(入っていると・・・)

水の流れが速いと、木造家屋は倒壊するおそれがあります

地面が削られると家屋は建物ごと崩落するおそれがあります

2 浸水深より居室は高い

5.0m以上	
3.0m~5.0m未満	
0.5m~3.0m未満	
0.5m未満	

屋内安全確保を可能にする「3つの条件」



垂直避難

想定最大浸水深

※浸水の深さや建物の高さによっては、2階以上に避難
※山や崖から離れた部屋へ垂直方向に避難
※自宅で安全が確保できることがわかっている場合でも、より安全な上層階へ

緊急安全確保

「緊急安全確保」とは災害の危険が迫っているにもかかわらず、「立退き避難」が間に合わなかった場合に、命を守るためにとる“最後の手段”の行動です。洪水や土砂災害等がすでに発生している、または今すぐ発生してもおかしくないほど切迫した状況のとき、指定の避難所へ移動することがかえって危険になることがあります。そのような場合に、今いる場所よりも相対的に安全な場所へ直ちに移動することが「緊急安全確保」です。ただし、この行動はあくまで「次善の策」であり、行ったからといって必ずしも安全が確保されるわけではありません。安全な場所へ早めに「立退き避難」することが重要です。

緊急安全確保の行動例

より高い階や浸水しにくい場所に移動



近隣の建物の上階へ移動



避難するときの心得

避難時に注意すること

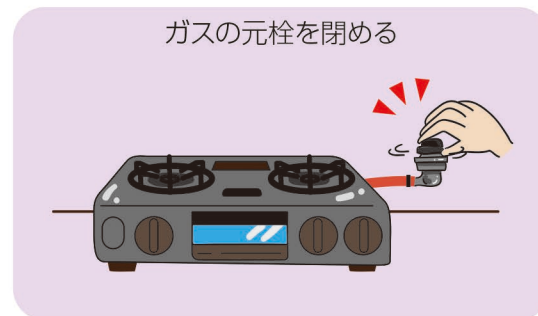
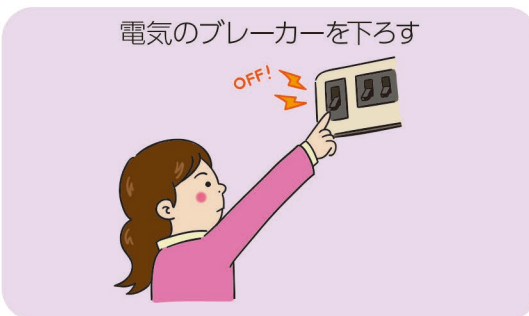
○情報の確認

雨や台風などの状況を、テレビ・ラジオ・インターネットなどで確認し、最新の気象情報や避難指示等に関する情報を入手しましょう。避難した後は、避難指示が解除されるなど、安全が確認されるまで、決して戻らないようにしましょう。

なお、すでに災害が発生していたり、暴風や大雨等により避難場所までの移動がかえって命に危険をおよぼしかねない状況では、近隣の堅牢な建物などへ緊急的に移動したり、屋外に出ることさえ危険な場合は自宅の2階以上の崖や沢からできるだけ離れた部屋等に移動するなど、直ちに身の安全を確保してください。



○家の中の備え



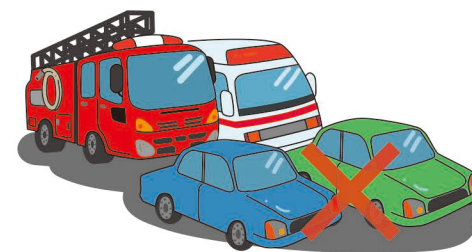
○動きやすい服装、集団での避難

長袖、長ズボンを着用し、ヘルメットや防災ずきんをかぶり、靴は運動靴のような脱げにくいしっかりしたものを履きましょう。非常持ち出し品はリュックに入れて背負い、両手が見えるようにしましょう。動きやすい格好で、二人以上での行動を心がけましょう。



○車での避難は危険

避難するときは原則として徒歩で避難しましょう。車を使うと渋滞を引き起こし、消防・救急活動などに支障を来します。また、自動車が水に浸かると動かなくなったり、水圧で扉が開けなくなったりして大変危険です。自動車での避難は特別の場合を除きやめましょう。



○川や用水路を見に行かない

大雨のときに、川や用水路の様子を見に行ったことで流されて被害に遭う場合があります。大雨時には絶対に川や用水路を見に行くことはやめましょう。



○地下空間の浸水

地下空間は地上からの情報が入りにくく、災害の状況の把握がしにくく、地上に比べて浸水スピードが速く、ある程度の水深を超えると水圧により扉が開けなくなることや、避難経路も地上出入口や接続ビルの上階に限定されるなど、非常にリスクが高い空間です。浸水の可能性のある地上出入口や想定浸水深等の浸水リスクを事前に把握しておく必要があります。



災害の「備え」チェックリスト

非常用持ち出し袋 避難の際に持ち出すもの

- ☐ 水
- ☐ 食品
(ご飯(アルファ米など)、レトルト食品、ビスケット、チョコ、乾パンなど:最低3日分の用意)
- ☐ 防災用ヘルメット・防災ずきん
- ☐ 衣類・下着
- ☐ レインウェア
- ☐ ひもなしのズック靴
- ☐ 懐中電灯(※手動充電式が便利)
- ☐ 携帯ラジオ(※手動充電式が便利)
- ☐ 予備電池・携帯充電器
- ☐ マッチ・ろうそく
- ☐ 救急用品
(ばんそうこう、包帯、消毒液、常備薬など)
- ☐ 使い捨てカイロ
- ☐ ブランケット
- ☐ 軍手
- ☐ 洗面用具
- ☐ 歯ブラシ・歯磨き粉・マウスウォッシュ
- ☐ タオル
- ☐ ペン・ノート

……一緒に持ち出そう……

- ☐ スマートフォン・モバイルバッテリーなど
- ☐ 貴重品
(通帳、現金、パスポート、運転免許証、病院の診察券、マイナンバーカードなど)



……感染症対策にも有効です……

- ☐ マスク
- ☐ 手指消毒用アルコール
- ☐ 石けん・ハンドソープ
- ☐ ウェットティッシュ
- ☐ 体温計



子どもがいる家庭の備え

- ☐ ミルク(キューブタイプ)
- ☐ 使い捨て哺乳瓶
- ☐ 離乳食
- ☐ 携帯カトラリー
- ☐ 子ども用紙オムツ
- ☐ お尻ふき
- ☐ 携帯用お尻洗浄機
- ☐ ネックライト
- ☐ 抱っこひも
- ☐ 子どもの靴

女性の備え

- ☐ 生理用品
- ☐ おりものシート
- ☐ サナタリーショーツ
- ☐ 中身の見えないごみ袋
- ☐ 防犯ブザー/ホイッスル

高齢者がいる家庭の備え

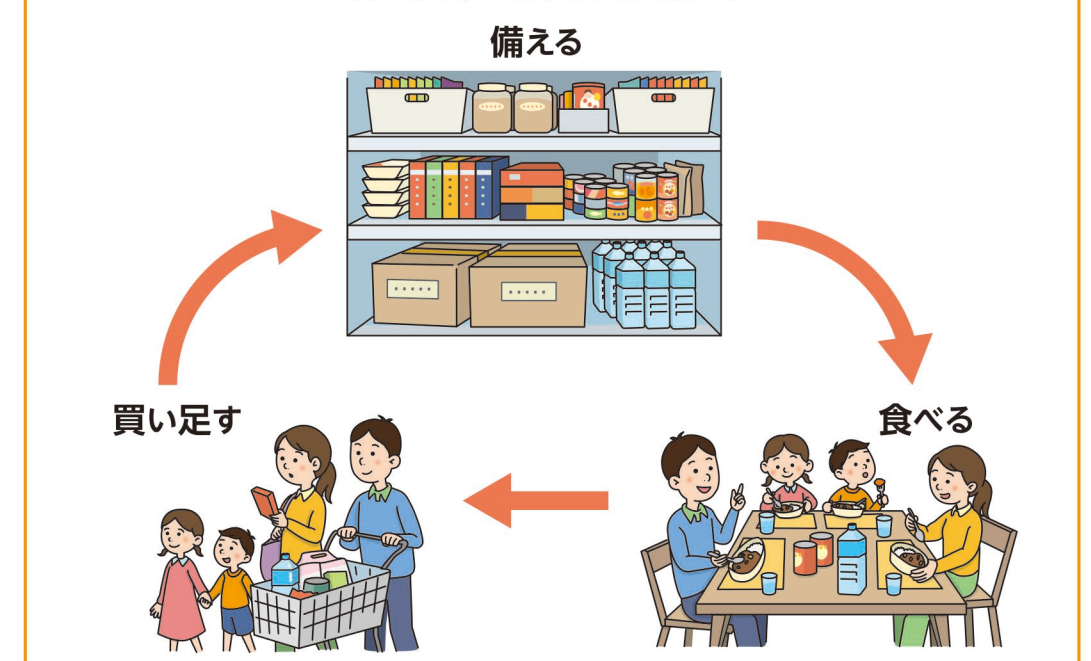
- ☐ 大人用紙パンツ
- ☐ 杖
- ☐ 補聴器
- ☐ 介護食
- ☐ 入れ歯・洗浄剤
- ☐ 吸水パッド
- ☐ デリケートゾーンの洗浄剤
- ☐ 持病の薬
- ☐ お薬手帳のコピー

備蓄品 家に備えておくもの

……食料・飲料・生活必需品などの備蓄の例(人数分用意しましょう)……

- ☐ 食料や水(最低3日分、できれば1週間分)×家族分
保存期間の長いものを多めに買って置き、消費したら補充するという習慣にしていれば、常に食料の備蓄が可能(ローリング・ストック)
- ☐ 飲料水
3日分(1人1日3リットルが目安)
- ☐ 非常食
3日分の食料として、ご飯(アルファ米など)、ビスケット、板チョコ、乾パンなど
- ☐ 生活用品
ティッシュ、トイレトペーパー、マッチ・ろうそく、カセットコンロ、ラップ、ごみ袋、ポリタンク、携帯トイレ(1人1日5枚程度使用と想定し×7日分)など

ローリング・ストックのイメージ



ほかにも、家庭で必要なものは日ごろから備えておきましょう

電気やガス、水道などのライフラインが止まった場合に備えて、普段から飲料水や保存の効く食料などを備蓄しておきましょう。防災のために特別なものを用意するのではなく、できるだけ、普段の生活の中で利用されている食品等を揃えるようにしましょう。

避難所について

避難所では、限られた空間の中で、たくさんの方々が生活をします。ルールを守り、住民が主体的に避難所運営に関わり、良好な環境を保ちましょう。

避難所と避難場所の違い

避難所

避難所は、災害の危険性があり避難した住民などが災害の危険性がなくなるまで必要期間滞在すること、または災害によって自宅に戻れなくなった住民などが一時的に滞在することを目的とした施設です。

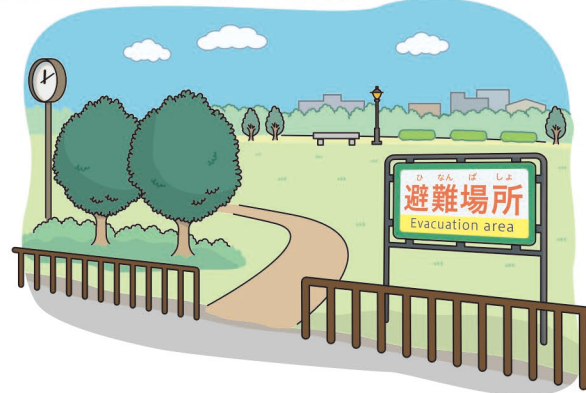
例：学校・体育館、公民館などの公共施設



避難場所

避難場所は災害から命を守るために緊急的に避難する場所です。災害の種類に応じて避難できる場所を指定しています。P41の一覧表で確認しておきましょう。

例：災害に対し、安全な構造である堅牢な建築物、災害の危険がない学校のグラウンド・駐車場・大規模な公園など



避難所生活の心得

生活ルールを守りましょう

- 起床や就寝の時間、トイレの使い方、喫煙場所など避難所のルールを守りましょう
- ほかの人の居住スペースに立ち入ったり、のぞいたり、大声をあげたりするのはマナー違反です

ベッドやプライバシーを確保しましょう

- 簡易ベッドの設置は足腰の弱い方に有効です
- プライバシー確保のために間仕切り（パーテーション）などを使用しましょう

犯罪に気をつけましょう

- 避難所では窃盗や詐欺、性犯罪、押し売りなどのいろいろな犯罪に注意して、怪しい人を見かけたら、警察官や施設担当者に連絡しましょう

口腔ケア・軽い運動を心がけましょう

- 避難所生活では、普段と異なる生活リズムや生活環境となり、特に高齢者の方は災害関連死のリスクが高まります
- うがいや歯磨きで口腔内を清潔に保ち、誤嚥性肺炎等のリスク対策に取り組みましょう
- 軽い運動や軽作業により体力の低下防止・寝たきり対策に取り組みしましょう

役割分担して運営に参加しましょう

- 避難者もできる範囲で、受付や清掃、炊き出し、物資の配布など役割分担しましょう
- 避難所開設が長期化する場合には、避難所運営の主体は避難所の皆さんとなりますので、皆さんで助け合いながら避難所運営に参加しましょう



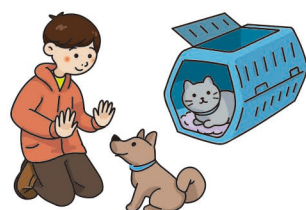
ペットの同行避難

災害が起こったときに最初に行くことは、もちろん飼い主自身や家族の安全確保ですが、ペットの安全確保についても、普段から考え備えておく必要があります。いざというときにあわてないように、ペットに基本的なしつけをしておきましょう。避難するときは、ペットと一緒に避難（同行避難^{*}）できるよう、日ごろからキャリーバッグやケージに入ることなどに慣れさせておくことも必要です。

※同行避難とは、避難先までの避難行動（行為）のことをいいます。避難先で、ペットと人が同じスペースで過ごすことなどの「同伴避難」を指すものではありません。（環境省動物愛護管理室「ペットを飼っている皆さまへ―災害時のペットとの同行避難について―（令和2年8月版）」より）

平常時にやっておくこと

- 住まいや飼養場所の防災対策
家具やケージの固定、屋外飼養の場合は飼養場所の安全確認をしましょう。
- ペットのしつけと健康管理
最低限のしつけや、ワクチン接種、寄生虫の駆除など、健康面のチェックをしましょう。
- 避難先の確認
ペットの受け入れが可能か事前に確認しましょう。
- 避難用品や備蓄品の確保
キャリーバッグやケージ、ペットフード、療法食、薬など



災害が発生した場合

- ペットの安全確保と同行避難
キャリーバッグやケージに入れ、避難用品を持って避難しましょう。
- 避難中の飼養環境の確保
各避難先が定めたルールに従い、飼い主が責任をもって世話しましょう。



自治体の避難指示等には従う必要があります

ペットが理由で避難しないことは、自分の安全を脅かすことにつながりますので、ペットと一緒に同行避難しましょう

自宅に留まる場合の備え

自宅での避難生活

過去の経験によれば、災害発生からライフライン復旧まで1週間以上を要するケースが多くみられます。また、災害支援物資が3日以上到着しないことや、物流機能の停止によって、1週間はスーパーマーケットやコンビニなどで食品が手に入らないことが想定されます。このため、**最低3日分～1週間分 × 人数分の食品の家庭備蓄**が望ましいといわれています。



災害発生

ライフライン停止 約1日～7日

ライフライン復旧

飲料水の備え

1人1日3リットルを目安に最低3日分、できれば7日分用意しておきましょう



必要な備蓄量を計算してみましょう

3リットル ×

家族の人数

人

×7日分=

必要な量

リットル

食料の備え

あなたの食生活別 選び方のヒント

- 普段料理をする → 常備菜・乾物がおすすめ：梅干し、缶詰、切り干し大根など
- 中食が多い → 必需品+推奨備蓄食品：レトルト食品、フリーズドライ食品など
- 普段料理をしない → 必需品+好きなもの：カップラーメン、菓子類、非常食など



トイレの備え

携帯トイレは1人1日5回程度使うと想定して7日分ほど用意しておきましょう



必要な回数を計算してみましょう

5回 ×

家族の人数

人

×7日分=

必要な回数

回

災害時には家のトイレ（水洗トイレ）が使えなくなることがあります。
飲料水・食料と同様にトイレの備蓄も大切です。

避難所一覧・関連施設

  ○…避難所に適している ×…避難所に適していない

番号	施設名	所在地	電話番号	洪水	地震	大規模な火事	地図	備考
1	本郷小学校	東蓼沼251	56-2133	×	○	○	2 - C - 4	
2	本郷北小学校	西汗1585	56-5075	○	○	○	2 - B - 2	
3	上三川小学校	上三川4594	56-2009	○	○	○	3 - E - 3	
4	坂上小学校	坂上628	56-2074	○	○	○	6 - A - 2	
5	北小学校	上蒲生1725	56-2431	○	○	○	3 - E - 1	
6	明治小学校	大山524	53-0070	○	○	○	3 - B - 2	
7	明治南小学校	多功1412	53-0237	○	○	○	3 - B - 4	
8	本郷中学校	東汗520	56-2136	×	○	○	2 - C - 3	
9	上三川中学校	上三川4279	56-2045	○	○	○	3 - E - 4	
10	明治中学校	大山25	53-3346	×	○	○	3 - C - 3	
11	上三川町役場	しらすぎ1-1	56-9115	○	○	○	3 - E - 3	
12	上三川日産スポーツセンター	上三川4270	56-7328	○	○	○	3 - E - 4	
13	町立図書館	上三川5040	56-7825	○	○	○	4 - A - 3	
14	上三川町ORIGAMIプラザ	上三川4173-1	56-9159	○	○	○	3 - E - 3	
15	上三川いきいきプラザ	上蒲生127-1	57-0211	○	○	○	3 - E - 3	(注2) 要配慮者やその家族のみが避難する施設
16	上三川ふれあいの家ひまわり	上三川5082-15	38-6821	○	○	○	4 - A - 3	
17	上三川高等学校	多功994-4	53-2367	○	○	○	5 - A - 2	※上記避難所が使用できない場合

注1：鬼怒川左岸の地域については、真岡市の避難所となる場合があります。JR宇都宮線の西側の地域については、下野市の避難所となる場合があります。

注2：要配慮者とは「高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦、その他の特に配慮を要する者」を指します。

防災関連機関

施設名	所在地	電話(0285)	地図
上三川町役場	しらすぎ1-1	56-9115	3 - E - 3
下野警察署	下野市下古山2451-41	52-0110	3 - A - 1
上三川交番	上蒲生131-5	56-2004	3 - E - 3
多功駐在所	多功1516-1	53-1297	3 - B - 4
西汗駐在所	西汗970-8	56-4585	2 - B - 2
石橋地区消防組合消防本部	下野市下石橋246-1	53-1119	5 - A - 3
上三川消防署	上三川4230-1	56-2564	3 - E - 3

医療機関

施設名	所在地	電話(0285)	地図
新上三川病院	上三川2360	56-7111	4 - A - 3
石川医院	大山467-5	52-0100	3 - B - 2
うえのクリニック	上蒲生2312-3	56-0008	3 - E - 2
川島内科小児科クリニック	上三川2863-1	37-7800	4 - A - 3
倉持整形外科上三川	西汗1644-2	55-0888	2 - A - 3
小口内科小児科医院	上三川3358	56-2109	3 - E - 4
しらすぎ耳鼻咽喉科クリニック	しらすぎ2-25-7	57-1133	3 - E - 2
せんば医院	しらすぎ1-19-8	55-1500	3 - E - 3
どんどんまろうクリニックしらすぎ	しらすぎ1-41-17	56-7007	4 - A - 3
藤沼医院	梁347	53-7105	5 - C - 1
本郷台医院	西汗1706-1	57-1623	2 - A - 2
やの小児科医院	上三川3446-3	56-0280	6 - A - 1
山崎医院	上蒲生2353-3	56-0211	3 - E - 2
やまだ整形外科内科クリニック	西汗1701-47	55-1340	2 - A - 2

要配慮者利用施設

施設名	所在地	電話(0285)	地図	施設名	所在地	電話(0285)	地図
上三川保育園	上三川2863-2	38-8760	4 - A - 3	グループホームぼぷら	石田1231-3	56-7799	1 - D - 3
認定こども園上三川幼児園	上三川3209	56-2171	4 - A - 4	特別養護老人ホーム ふじやまの里	上三川3950-1	55-0960	5 - E - 1
あけぼし保育園	上三川4940	56-7973	3 - E - 4	特別養護老人ホーム ふじやま荘	上三川3375-1	57-1011	3 - E - 4
蓼沼保育園	東蓼沼632-2	56-2210	2 - C - 4	ふるさとホーム上三川	しらすぎ1-32-9	55-2551	3 - E - 3
ふざかしおひさま保育園	西汗1698-11	55-0028	2 - A - 2	やさしうえ上三川	しらすぎ2-13-18	32-6426	3 - E - 2
ゆいのわ保育園	西汗1506-1	38-7255	2 - B - 2	福祉支援センター	しらすぎ2-1-1	37-9080	3 - E - 2
大山保育園	大山558-11	39-8733	3 - B - 3	生活介護スマイルサポート上三川			
認定こども園しらすぎ幼稚園	上三川5095	56-2098	4 - A - 3	障がい者グループホーム あじさいのおか	上郷2131-6	090-8349-6114	4 - B - 1
しらすぎセントラル保育園	上三川5003-2	38-8040	4 - A - 3	ダリアホーム上三川	しらすぎ1-48-2	37-8733	4 - A - 3
トータスキッズ	下神主249-1	51-1133	3 - C - 1	グループホームハーモニ	しらすぎ1-24-1	38-7570	3 - E - 3
ふじやま園	上三川3950-4	39-8267	5 - E - 1	サポートちから	上三川5067-4	38-7732	4 - A - 3
認定こども園やしお幼稚園	上蒲生2111-1	56-7222	3 - E - 1	児童発達支援事業所 choucho (シュシュ) 上三川	しらすぎ1-29-6	050-8885-4854	4 - A - 3
特別養護老人ホーム トータスホーム	下神主229-6	52-1000	3 - C - 1	トータスジュニア上三川	下神主229-6	52-1232	3 - C - 1
グループホーム ヘブリートータス	下神主231-1	52-3330	3 - B - 1	トータスミドル上三川	下神主249-1	38-8600	3 - C - 1
リライフトータス	下神主249-1	51-1133	3 - C - 1	スマイル上三川	しらすぎ1-19-4	39-8650	3 - E - 3
カイリハトータス 上三川	西汗1742-6オ-タニ上三川店内	32-6556	2 - A - 2	ベストファームなかま	坂上409-3	32-6751	6 - A - 2
特別養護老人ホーム 友愛苑	上三川1636-2	56-5228	4 - B - 4	上三川町こども発達支援センター	上蒲生2108	37-6716	3 - E - 1
通所介護センター ふれあいホーム	西汗1553-13	56-8548	2 - B - 2				
ふれあいホームたかだ	上三川2269-6	37-8196	4 - A - 3				

わが家の「緊急・救急情報」防災メモ

非常時・緊急時に活用してもらいたいわが家の情報です。災害時に救助の方や、緊急時に救急隊・医療機関などに情報を提供します。連絡してほしい方などの情報を記入しましょう。

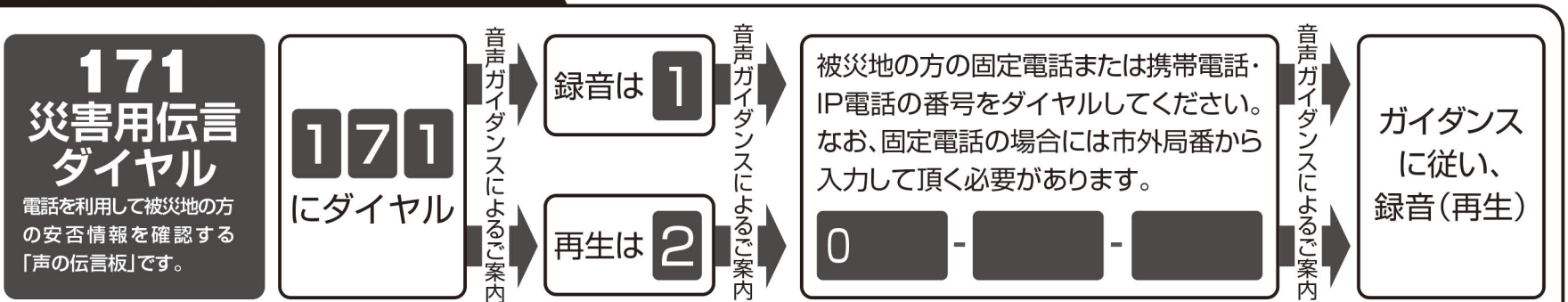
わが家の避難先	洪水時	地震時
家族が離れているときの集合場所	洪水時	地震時

氏名	連絡先	会社・学校	血液型	かかりつけ医・常備薬

【メモ】※書ききれなかった内容や、知ってほしい情報(介護情報・救急隊員への伝言など)をお書きください。

緊急ダイヤル	消防へ火事・救急・救助の連絡 119	警察へ事件・事故の連絡 110
--------	---------------------------	------------------------

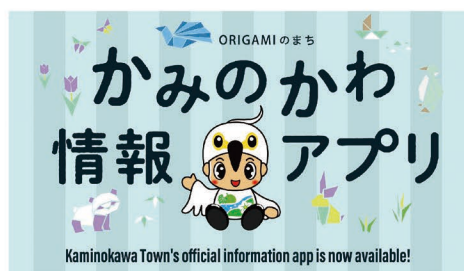
あなたの無事を伝えましょう 体験利用日: 「毎月1日および15日」、「正月三が日」、「防災週間」、「防災とボランティア週間」



災害用伝言板(パソコン・スマートフォン用)



かみのかわ情報アプリで情報を集めましょう



【ダウンロードはこちら】



Android用



iOS用

防災に必要な情報が
このアプリ一つで
確認することができます！

避難指示や気象情報、ハザードマップなどの防災情報を確実に取得、簡単に確認することができる上三川町専用のアプリが登場しました。

平常時には子育てや健康に関する情報、イベント情報などの今まで「かみたんメール」で届いていた町からのお知らせをスマートフォンで受け取ることができます。さらに、過去のお知らせも一覧で確認することができます。他にも、生活に役立つ機能が盛りだくさんのアプリですのでダウンロードをお願いします。

特徴 1 上三川町からの お知らせを受信

上三川町からの情報をアプリで受け取ることができます。PUSH通知で受け取ることもできるので情報をしっかりと確認できます。

You can receive information from Kaminokawa Town through the app. You can also receive push notifications, so you can stay well-informed about important updates.



特徴 2 多言語配信機能

配信内容を多言語で受け取ることができます。複数の言語に対応しているため、様々な住民の方に快適に使用していただけます。

You can receive push notifications in multiple languages. Since we support various languages, residents from diverse backgrounds can use the app comfortably.



特徴 3 便利なリンク集

便利なリンク集でアプリから素早く情報にアクセスできます。

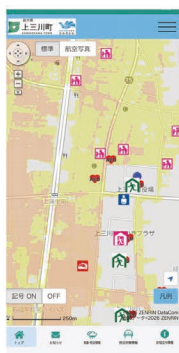
You can quickly access information from the app through a convenient collection of links.



防災に関する情報をリンクから簡単に確認

WEB版ハザードマップ

洪水浸水想定区域や浸水継続時間、雨水浸水想定区域を確認することができます。



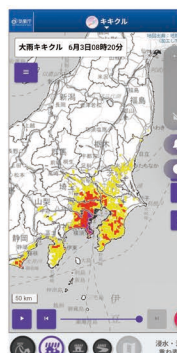
川の水位情報

田川や鬼怒川などの水位情報をグラフや河川カメラで確認することができます。



気象庁HP & キキクル

大雨による危険度などを地図で確認できる「キキクル（危険度分布）」や雨雲の動き、台風の予想などを確認することができます。



避難所の開設・混雑情報

町の指定避難所の開設・混雑状況がリアルタイムで確認することができます。



他にも「東京電力の停電情報」、安否確認のための「災害用伝言板」など防災に関するリンクや、町で生活する上で役立つさまざまなページにリンクからアクセスできます。

その他の防災情報の取得方法

テレビ (データ放送)

震度や波の高さ、発令されている警報・注意報など



リモコンのdボタンから展開

防災とちぎ

緊急情報、気象情報、災害情報



かみたんメール

上三川町の情報をメールで受け取るサービス

↓スマホ ↓ガラケー



▼パソコンの方ははこちらから

<https://plus.sugumail.com/usr/kaminokawa/home>

【携帯電話を所有していない方は・・・】

「かみたんメール」を受信できない世帯の方を対象として、災害時の避難情報を固定電話へ音声でお知らせします。詳しくは、防災係 ☎56-9115 へお電話ください。

発行 上三川町役場

総務課 防災係 TEL 0285-56-9115

「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R4JHs 535-09301010S」 「測量法に基づく国土地理院長承認(使用) R 6JHs 329」

「測量法に基づく国土地理院長承認(使用) R 5JHs 167-711号」

※使用ピクトグラム… JIS Z8210 [洪水/内水氾濫] [大規模な火事] [鉄道/鉄道駅]

令和8年9月発行